

中国関係論説資料

第五十九号〔二〇一七年（平成二十九年）分〕

収録論文一覧

第一分冊（哲学・宗教・文化）上

愛知大学 言語と文化 三五 (二〇一六・七)	关于中国人的血缘关系交际(上) — 中国交际文化 谈(二) —	張 筱平	1
”	ヴァニョーニ述『天主教要解略』訳注(十八) 主 なる神様の十戒の部(訳者補足 続の六)	A・ヴァニョー 谷	—
”	ヴァニョーニ述『天主教要解略』訳注(十九) 主 なる神様の十戒の部(訳者補足 続の七)	A・ヴァニョー 谷	二
愛知大学国際コミュニケーション学会 文明二 三五 (二〇一五・二)	黄帝攷 2	中島 敏夫	12
愛知大学 国際問題研究所紀要 一五〇 (二〇一七・二〇)	鏡像のムスリム — 中国西北地域(日本像)形成 パターン研究ノート —	鈴木 規夫	25
愛知大学体育学論叢 一三三 (二〇一六・三)	台湾日本統治下時代の一九三二年第一七回全国中 等学校優勝野球大会(甲子園大会)で準優勝した嘉 義農林学校「KANON」に関する調査報告	松岡 弘記 塚田 美	33
愛知学院大学論叢 教養部紀要 六四一 (二〇一六・九)	二胡情縁(六) — 二胡少年の夢 —	趙 寒陽 朱 新著 王 紅梅	43
愛知学院大学地域社会デザイン総合研究 所 地域社会デザイン研究 四 (二〇一六・三)	現代の台湾から考える日本 — 台日関係を描く台 湾映画に台湾アイデンティティを求めて —	三輪 昭子	62
愛知県立大学外国語学部 紀要 四八 言語・文学編 (二〇一六・三)	梁啓超と徳富蘇峰 — 馮自由「日人徳富蘇峰与梁 啓超」と梁啓超の「盗用」をめぐって —	川 尻 文彦	68
”	『万国公法』の運命 — 近代における日中間の「思 想連関」の観点から —	川 尻 文彦	75
愛知県立大学大学院国際文化研究科論集 一七 (二〇一六・三)	民国期の服制条例についての一考察 — 男子服を 中心に —	乗 松 佳代子	82
愛知東邦大学 東邦学誌 四五— (二〇一六・六)	「台湾人」という意識 — 若者のアイデンティティ はどこから来たのか?どこへ行くのか? —	伊 藤 恵美子	94
跡見学園女子大学人文学フォーラム 一四 (二〇一六・三)	春秋學用語集補遺(二)	岩 本 憲 司	二二
有明教育芸術短期大学紀要 六 (二〇一五・三)	近代中国の幼稚園論の展開にみるモンテッソーリ 教育法の受容に関する考察	日 暮 トモ子	100
茨城大学人文学部 人文コミュニケーション 学論集 二二 (二〇一七・三)	劉師培『中国歴史教科書』訳注(一)	井 澤 耕一 ／ 訳	三〇

岩手大学 平泉文化研究センター年報 三(二〇一五・一)	山東地域における中国南方産陶瓷器の流通に関する研究(その一) — 宋墓に副葬された事例を中心に —	徐留大	107
”	福建省窯址調査記	徳留大輔	113
”	日本経塚信仰の起源と源流を探る — 中国調査中間報告 —	菅野成寛	116
”	中国における金銀字経の起源およびその展開	劉海宇	120
植草学園短期大学紀要 一六 (二〇一五・三)	中国人幼児に対する通訳による支援 — U幼稚園における実践研究から —	相磯友子	125
桜美林大学 桜美林論考 人文研究 七 (二〇一六・三)	槐の文化と語源	寺井泰明	130
桜美林大学 桜美林論考 言語文化研究 八(二〇一七・三)	ジャーナリスト清水安三の中国論とその今日的意義	高井潔司	139
大阪経済法科大学アジア研究所 東アジア研究 六四(二〇一六・一)	元暁と世親『無量寿経論』	辻本俊郎	154
岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要 四三(二〇一七・三)	朱子の「変化気質」	孫路易	三三
岡山商科大学学会 岡山商大論叢 五一三(二〇一六・三)	中国における若年層のストレス対処能力SOCと生活習慣	于渡邊飛二	159
香川大学国文研究 四〇(二〇一五・九)	趙仲穆の篆刻 — 「鐵如意齋印存」を中心に —	小西憲一	四四
”	王冰鐵について	小西憲一	四九
”	孔子と孔子の門人たち(一)	高畑常信	五三
鹿児島大学国際島嶼教育研究センター 南太平洋研究 三六二(二〇一六・三)	A Trial of the History of Anthropology in Taiwan during the Japanese Occupation: Focusing on Inou Kanori, Usurikawa Nenozo, and Kanaseki Takeo	CHUN Kyung-soo	165
神奈川大学人文学会 人文研究 一八五 (二〇一五・三)	台北(台湾)の色彩	三星宗雄	178
神奈川大学大学院 言語と文化論集 二三(二〇一七・一)	大連における東北料理店の店名について店名構造を中心に	楊洲	186
金沢大学考古学紀要 三七 (二〇一五・一)	東アジア先史時代の編物に関する雑考 — もじり編みと多経多緯式 —	松永篤知	195
金沢美術工芸大学紀要 六〇 (二〇一六・三)	公州麻谷寺五層石塔の四仏について	水野さや	201
関西大学文化交渉学教育研究拠点 東アジア文化交渉研究 九(二〇一六・三)	関西大学アジア文化研究センター「鱗澤文庫」の 珍藏本	内田慶市	212
”	曲直瀬道三の察証弁治 — 癡閑・閑格を中心に	熊野弘子	219
関西外国語大学 研究論集 一〇五 (二〇一七・三)	新疆ウイグル自治区における雑技系芸能の分布と 特色	鶴島三壽	226
環太平洋大学研究紀要 一〇 (二〇一六・三)	上海の幼稚園児の生活状況について — 園児の生活 時間相互の関連 —	新沼正子	234
岐阜聖徳学園大学仏教文化研究所紀要 一六(二〇一六・三)	唐代における『因明入正理論』についての二論争 — 中国・日本での理解 — 上	後藤康夫	236
汲古書院 汲古 七一(二〇一七・六)	嘉興市図書館蔵周氏万巻楼刊『萬寶全書』について	玉置奈保子	六〇
”	尊経閣文庫所蔵の明版『聖朝破邪集』について	永富青地	六三

汲古書院 汲古 七二 (二〇一七・二)	女応撰『一切経音義』諸本系統から見たP.2901	李乃琦	六六
九州産業大学柿右衛門様式陶芸研究セン ター論集 一一 (二〇一五・三)	中国・宋時代の青磁の再現研究 II	梶原茂正	248
九州女子大学紀要 五三一 (二〇一六・九)	見鬼としての羅聘	若松信爾	七〇
教育史学会紀要 日本の教育史学 五九 (二〇一六・一〇)	一九二〇年代中国におけるキリスト教主義の女子 教育と結婚問題 ― 韓端慈女史の死に関わる報道 をめぐって―	張語涵	255
〃 六〇 (二〇一七・一〇)	清末国内知識人による「学堂樂歌」運動の展開 ― 常州の音楽講習会を中心に―	班婷	262
京都大学大学院アジア・アフリカ地域研 究研究科 アジア・アフリカ地域研究 一五二 (二〇一五・一)	台湾先住民族社会の戦後過程	森田健嗣	268
京都外国語大学・京都外国語短期大学 研究論叢 八七 (二〇一六・七)	当代中国書評家の三賢人 止庵、謝其章、楊小洲 について(上)	蔭山達弥	278
京都外国語大学 無差 二二 (二〇一四・三)	中国東北部の民間宗教的職能者	佐々木伸一	287
京都光華女子大学真宗文化研究所年報 真宗文化 二四 (二〇一五・三)	支謙訳『義足経』解読研究(一)	加治洋一	七九
〃 一五 (二〇一六・三)	支謙訳『義足経』解読研究(二)	加治洋一	八八
京都産業大学 日本文化研究所紀要 二二 (二〇一六・三)	台湾仏教・慈善会による慈善活動とその思想的基 盤 ― 菩薩行としてのボランティア活動と「人間 仏教」の系譜―	志賀浄邦	301
京都女子大学食物学大会誌 七一 (二〇一六・一)	中国都市部児童の食生活に関する実態調査	邱山玲子	329
京都市立芸術大学美術学部研究紀要 六〇 (二〇一六・三)	『全五代詩』にみえる絵画関連資料 一	竹浪遠	335
近畿大学総合社会学部紀要 四二 (二〇一六・三)	異文化と「勘違い」 ― いま、中国を講ずること について―	好並晶	344
金城学院大学論集 人文科学編 一一二 (二〇一七・三)	日本における中国画題綜覧(一)	張小綱	二〇四
〃 一四一 (二〇一七・九)	日本における中国画題綜覧(二)	張小綱	二二三
近代東西言語文化接触研究会 或問 三一 (二〇一七・六)	満漢合璧版『古新聖経』訳注稿(一)	張小綱	二二三
群馬大学教育実践研究 三三三 (二〇一六・三)	台湾における統合学習領域「芸術と人文」と我が 国の音楽科教育への示唆 ― 現地における聞き取 り調査の分析を通して―	陳余雅	350
慶應義塾大学 藝文研究 一一一 (二〇一六・二)	南北朝時代古鈔本『論語集解』の研究 ― 台北故 宮博物院所蔵楊守敬観海堂本について―	竹越孝	350
〃	日本人女性スパイ南造雲子をめぐる言説の生成と 展開	杉野元子	364
〃	ロープウェイのつなぐもの ― 映画都市「重慶 の表象をめぐって	吉川龍生	375
〃 一二二 (二〇一七・六)	清朝宮廷演劇『混元盆』の成立と上演	山下一夫	二四〇
慶應義塾大学日吉紀要 人文科学 三二 (二〇一六・五)	陳応時『琴律学』訳注稿(一)	村越貴代美	383

慶應義塾大学 日吉紀要 中国研究 一〇 (二〇一七・三)	振り捨てきれない遺産 ―戴震『毛鄭詩考正』における宋代詩經學の引用の意義	種村和史	※
慶應義塾経済学云 三田学芸雑誌 一〇八・四 (二〇一六・一)	プロテスタント宣教師文献とアジアの近代 ―玉川大学蔵『天道溯源』をめぐる― 宝巻と道教の煉養思想について	中村 聡	408
皇學館大学研究開発推進センター紀要 二 (二〇一六・三)	中国の高等教育における日本語教育考 ―安徽省 合肥市の五大学での聞き取り調査を通して― 張東蓀の「土階級」論 ―中国における民主化の 担い手として― 『中国传统节日故事』についての一考察	大塚 薫 中尾友則 矢野 日出子	413 二五 428
高知大学留学生教育 九 (二〇一五・二)	道教の十王儀礼の展開 ―黄籙齋と十方―	田中文雄	二七
神戸女子大学史学会 神女大史学 三二 (二〇一五・一)	国際的な移民と異種混雑文化の研究 ―在琉中国 人と沖縄系ブラジル人を例として― 潘府『孔子通記』初探	渡邊 欣雄 青木洋司	一七五 一八〇
神戸親和女子大学児童教育学会 児童教 育学研究 三五 (二〇一六・三)	台湾の博物館制度の現状と課題 ―歴史・法制度 の考察を中心に―	二葉 俊弥	一九〇
國學院大學 國學院雑誌 一一七・二 (二〇一六・一)	校点『筆記律呂新書説』(附訓読)(四)	山寺 三知	一九
(二〇一七・三)	荻生徂徠著『楽律考』訳注稿(四)	山寺(小野) 美紀子	三二
(二〇一七・九)	石田憲司の台湾寺廟文化の調査・研究 ―『台湾雜稿』の整理と収録データからの考察―	向野 正弘	三七
(二〇一七・二)	ナショナルIIアイデンティティとグローバルIIア イデンティティの視点から台湾と台湾修学旅行につい て考える ―二〇一三・一二・二〇―二五 台北 小旅行雑感―	向野 正弘	三三
國際日本文化研究センター 日本研究 五二 (二〇一六・三)	革命から改造へ ―宮崎滔天の夢と中国―	何 鵬 挙	三七
國際仏教学大学院大学研究紀要 二〇 (二〇一六・三)	智顛撰『維摩經文疏』訳注(四)	藤井教公	四七
国士館大学アジア・日本研究センター Asia Japan Journal 12 (二〇一七・三)	多国籍都市上海の歴史と文化 ―劇場から見る東 西の交流―	榎本 泰子 土佐 昌樹	437 444
国士館大学哲学会 国士館哲学 一九 (二〇一五・三)	海保青陵『談五行』訳注稿(一)	坂本 頼之	444
国士館大学二世紀アジア学会 二二世紀 紀アジア学研究 一四 (二〇一六・三)	中国における日本語教育の異変 ―海南省の大学 を中心に―	邢 志 強	453
駒澤大學禪研究所年報 二八 (二〇一六・二)	虚堂智愚の住持期の動静(一)	佐藤 秀 孝	二七〇
〃 一九 (二〇一七・二)	虚堂智愚の住持期の動静(三)	佐藤 秀 孝	二五四
駒澤大学総合教育研究部紀要 一〇 (二〇一六・三)	美感与伦理・冯至的『交往』境界	佐藤 普美子	463
駒澤大學佛教學部論集 四七 (二〇一六・一〇)	『成唯識論』の三性説の解釈について	吉村 誠	三三九

駒澤大學佛敎學部論集 四七 (二〇一六・二〇)	『宋会要』道釈部訓注(一一)	永井政之 他六名	三五
”	香林澄遠の伝記と思想	角田隆真	三六
”	陝西省葉王山博物館所蔵「田元族造像碑」の涅槃 図像が意味すること	村松哲文	三四六
”	中国の文献に見られる瑜伽行派と中観派の論争	吉村誠	三五三
駒澤大学大学院仏敎教学研究会年報 四九 (二〇一六・五)	智門光祚の頌古についての研究	角田隆真	三四四
埼玉大学紀要 敎養学部 五二一 (二〇一六・九)	厦門の石敢當	井上智勝	三七三
静岡県立大学 国際関係・比較文化研究 一四二(二〇一六・三)	宮崎滔天とアジア主義	嵯峨隆	470
”	パリに移住した中国系インドシナ難民の中国認識 ―非公式的な中国語敎育の事例から―	奈倉京子	481
淑徳大学研究紀要 総合福祉学部・コミ ュニテイ政策学部 四八(二〇一四・三)	日・中初対面会話スタイル及び高齢者とのコミュ ニケーションに関して	ト 雁	493

※・・・特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

第一分冊 (哲学・宗教・文化) 下

首都大学東京人文科学研究科 人文学報 五〇八 (一〇一五・三)	桃符 呪術と文芸の間に――初期対聯研究ノート から	木之内 誠	1
五二二・二二 (一〇一六・三)	閩南地方大陸側の石獅爺・風獅爺 東シナ海・南 シナ海石造獅子・狗犬文化圏の比較研究(一)	川野 明正	17
”	張挾端『清明上河図』画卷 登場人物計数に關す る一試論	木之内 誠	30
”	近代中国における性の科学とSF ―顧均正「性 変」を読む	上原 かおり	45
尚美学園大学芸術情報研究 一五 (一〇一六・三)	雄々しき帝・黄帝	角屋 明彦	55
”	悩める帝・黄帝	角屋 明彦	61
鈴鹿工業高等専門学校紀要 四四 (一〇一・一)	「対の思想」研究史の現状と課題 ―対の思想 (両面思考) の生まれてきた歴史的背景について (序章)―	小倉 正昭	一
”	対の思想と現実の尊重 ―対の思想(両面思考) の生まれてきた歴史的背景について(一)―	小倉 正昭	7
”	楊朱・墨翟と儒教思想の複合性 ―対の思想から 考察した中国思想の構造論研究(二)―	小倉 正昭	一五
”	中庸思想の必要条件と機能論 ―対の思想から考 察した中国政治思想の構造論研究(三)―	小倉 正昭	二六
鈴鹿大学短期大学部紀要 三七 (一〇一七・三)	中国青海省女子学生における身体および食事の状 況	木下 麻衣 梅原 頼子	67
聖徳大学短期大学部国語国文学会 文学 研究 二八 (一〇一七・三)	王莽の『孝経』解釈とその明堂祭祀	古橋 紀宏	三七
禪學研究會 禪學研究 九四 (一〇一六・三)	蘭溪道隆の出身地についての一考察 ―蘭溪とい う道号を踏まえ―	舘 隆志	五〇
専修大学社会科学研究所月報 六二七 (一〇一五・九)	満州映画史研究に新しい光を ―「満州国」にお ける日本映画の上映と受容の実態	劉 文兵	72
”	胡傑・艾曉明監督『紅色美術』のインタビュ―資 料およびその分析	土屋 昌明	80
”	禪の終焉(中) ―要説・中国禪思想史四八	伊 吹 敦	六七
禅文化研究所 禅文化 二四三 (一〇一七・一)	東明慧日の伝記史料 ―竺仙梵僊撰『東明和尚塔 銘』の訳注―	佐藤 秀孝	七一
曹洞宗総合研究センター 宗学研究紀要 二八・二九 (一〇一六・三)	「中国歌劇」公刊脚本目録「一九五九―一九六一」	関 浩志	99
大東文化大学 外国語学会誌 四五 (一〇一六・三)	”	原 孝治	八八
大東文化大學漢學會誌 五六 (一〇一七・三)	墨子親土・脩身・所染・法儀・七患・辭過・三辯 篇補正	山口 秀和 今井 幸栄	九二
大東文化大学紀要 五四 人文科学 (一〇一六・三)	校訂 金剛般若経集驗記(四)	山口 秀和 今井 幸栄	九二
”	校訂 金剛般若経集驗記(五)	山口 秀和 今井 幸栄 追田(昌)	一〇三
”	校訂 金剛般若経集驗記(五)	山口 秀和 今井 幸栄 追田(昌)	一〇三

大東文化大学人文科学研究所 人文科学 二〇(一〇二五三)	「文は以て道を明らかにす」——中国美学における「文」および「道」と正統の関係について——	張伯英『法帖提要』訓注稿(八)	青木優子	106
大東文化大学人文科学研究所 中国美学 範疇研究論集 四(二〇一六二)	「中華美学精神」の基本特質についての試論		張 利 晶	116
大東文化大学院書道学専攻院生会誌 書道学論集 一四(二〇一七二)			河 内 利 治	125
玉川大学芸術研究所紀要 二二 (二〇一六二)	江戸後期より明治初期に至る科学の進歩と科学教育の研究		澤 田 雅 弘	137
筑紫女学院大学・筑紫女学院大学短期大学部 紀要 一一(二〇一六二)	中国の多文化共存に関する一考察		安 池 藤 田 喜 紀 香	142
千葉商科大学国府台学会 千葉商大紀要 五四・一(二〇一六九)	「散砂」「群氓」「亡国の民」に彷徨う中国人「国民性」への認知——敗戦まで日本インテリ層の中国認識をめぐって		郭 梓 寧 瑩	148
中央大学人文科学研究所 人文研紀要 八六(二〇一七九)	ルネサンスと上海——徐光啓から徐家匯へ——		張 宇 梓 寧 瑩	157
中央大学文学部紀要 言語・文学・文化 一一九(二〇一七二)	国民革命期における瞿秋白の知識階級観		郭 梓 寧 瑩	169
〃 〃 哲学 五九 (二〇一七二)	年号勘文資料が漢籍校勘に関して持つ価値と限界——経書の校勘を中心とする考察——		郭 梓 寧 瑩	180
中央大学論集 三七(二〇一六三)	中国思想は高校生にどのように教えられているのか——平成二八年度使用 高校「倫理」の教科書を分析して——		郭 梓 寧 瑩	196
中京大学 国際教養学部論叢 九・二 (二〇一七三)	呂楠論(五)——中国ドキュメンタリー・フォト(「纪实撮影」)における文脈論の試み——		郭 梓 寧 瑩	180
中京大学体育学論叢 五六・一二 (二〇一六三)	「趙長軍武術学院」視察報告		郭 梓 寧 瑩	196
中京大学文学部紀要 五一・一 (二〇一六二)	朱子学の現代的意義——「性」と「太極」概念の分析を通じて——		郭 梓 寧 瑩	196
中国古典學會 中国古典研究 五八 (二〇一六二)	郝敬の「攻乎異端」解釋——經典解釋意識解明のために		郭 梓 寧 瑩	196
中国四国教育学会 教育学研究紀要 六一・一(二〇一六三)	中国における少数民族の無形文化財の伝承と学校教育——トン族の歌垣の教育課程化の試みを中心に——		郭 梓 寧 瑩	196
〃 〃 六一・二(二〇一六三)	中国貴州省における教師合作の現状		郭 梓 寧 瑩	196
中部大学国際関係学部論集 貿易風 一一(二〇一六四)	「辞旧」「迎新」——上海市民衆の年末年始行事の実態①——		郭 梓 寧 瑩	196
筑波大学 書芸術研究 九 (二〇一六三)	張懷瓘の書体論にみる書法観の二面性		郭 梓 寧 瑩	196

帝京平成大学紀要 一七 (二〇一六・三)	台湾の『国民中小学九年一貫課程綱要』における キャリア教育の位置づけ — 教育改革における背 景と経緯を考証して —	小野 憲 一	214
天理大学おやさと研究所年報 一三二 (二〇一六・三)	台湾先住民族とキリスト教伝道 — とくにタイヤ ル族の長老教会について —	金子 昭	223
天理大学季報 六七・二 (二〇一六・二)	戦中戦後台湾における教育経緯 — 宜蘭・李英茂 氏への聞き取り記録から —	山本 和行 樋浦 郷子 須永 哲思	236
東海大学紀要 文学部 一〇三 (二〇一五・九)	鈴木胤『論語参解』私注(二十九)	田 尻 祐 一郎	一六三
〃 一〇四 (二〇一六・三)	鈴木胤『論語参解』私注(三十)	田 尻 祐 一郎	一六八
〃 一〇五 (二〇一六・九)	鈴木胤『論語参解』私注(三十一)	田 尻 祐 一郎	一七三
〃 一〇六 (二〇一七・三)	鈴木胤『論語参解』私注(三十二)	田 尻 祐 一郎	一七九
東海大学国際文化学部紀要 八 (二〇一六・三)	北京・紫禁城・屋頂の動物造形について — その歴史的意義と伝説 —	松 木 民 雄	251
東海大学 東洋文化研究所紀要 一六九 (二〇一六・三)	『二夜碧巖』第一則訳注	土 屋 太 祐	一八五
〃 一七一 (二〇一七・三)	『二夜碧巖』第三則訳注	土 屋 太 祐	二〇八
〃 一七二 (二〇一七・二)	班孟堅の忠臣 — 顔師古『漢書』注にみる「史」 の「經」への回帰 —	渡 邊 義 浩	二三四
東海大学文学部次世代人文学開発センタ ー研究紀要 文化交流研究 一九 (二〇一六・三)	『論語』の解釈変更 — 古注から新注へ —	小 島 毅	261
東海大学大学院教育学研究紀要 五六 (二〇一七・三)	日本語学校に在籍する中国人留学生の段階的サポ ートニーズ — フォーカス・グループ・インタビ ューから —	安 婷 婷	269
東海大学大学院教育学研究科教育行政学 論叢 三六 (二〇一六・一〇)	中国における教育実習改革の現状に関する考察 — 三つの師範大学についての事例分析を通じて —	孫 雪 熒	275
東海大学大学院総合文化研究科国際社会 科学専攻紀要 国際社会科学 六六 (二〇一七・三)	「雷鋒」を分析する — なぜ「共感」は中国での諸 改革にとって重要か —	鍾 非	283
東京外国語大学 アジア・アフリカ言語 文化研究 九〇 (二〇一五・九)	〈衾化〉から〈剪紙〉へ — 中国・陝北農村における 女性の主体化の系譜学に向けて —	丹 羽 朋 子	290
東京学芸大学紀要 総合教育科学系 II 第六七集 (二〇一六・二)	日本と中国の小学校における掃除の取り組みの実 態と相違	大 竹 美 登 利 全 橋 忠 彦	302
〃 第六八集 (二〇一七・二)	『大観茶論』の研究 — 校勘・注釈・翻訳 —	高 橋 忠 彦	二四三
東京学芸大学国語国文学会 学芸国語国 文学 四八 (二〇一六・三)	茶の五つの名 — 唐以前における茶の呼称につい て —	高 橋 忠 彦	二六〇
東京工芸大学芸術学部紀要 芸術世界 二一 (二〇一五・三)	中国水墨画における「氣韻生動」とは何か？	満 柏	308
東京電機大学 総合文化研究 二三 (二〇一五・二)	報復感情としての「疾悪」と『荀子』の性悪説	洪 谷 由 紀	314
同志社大学人文科学研究所 キリスト教 社会問題研究 六六 (二〇一七・二)	中国キリスト教史研究の現在 — 「中国語キリス ト教文献目録の整理と研究」というプロジェクト を中心に —	朱 虹	318

同志社大学人文学会 人文學 一九八 (二〇一六・二)	「山水之姿」——中国絵画における奥行き表現の古典様式——	河野道房	二六七
同志社大学人文学会 評論・社会科学 一一八 (二〇一六・九)	中国のキリスト教団体及び活動の特徴について——上海朝鮮族の「家庭教会」を事例に——	徐琼	332
同志社女子大学現代社会学会 現代社会 フォーラム 一二 (二〇一六・三)	日本・中国・台湾・韓国の保育者・教師が抱く葛藤解決方略	塘利枝子 翁麗芳 金娟鏡	344
同朋大学人文学会 同朋文化 一一 (二〇一六・三)	台湾布袋戲の現状(二〇一四～一五)	渡邊幸彦	354
東北大学高度教養教育・学生支援機構紀要 二 (二〇一六・三)	日中の学生による相互学習型授業における異文化理解活動の試み	森山美紀子	368
東北大学大学院教育学研究科研究年報 六五・一 (二〇一六・二)	日本・韓国・台湾における結婚移住女性のメンタルヘルスに関する研究動向	上一絳 高玲志 黎香	374
東北芸術工科大学東北文化研究センター 研究紀要 一五 (二〇一六・三)	植民地台湾における旗袍	謝黎	386
東洋大学アジア文化研究所 研究年報 五〇 (二〇一六・二)	ツングース文化と日本文化との比較研究——婚姻習俗を中心に——	劉永辰 王辰鵬	390
東洋大学東洋学研究所 東洋学研究 五三 (二〇一六・三)	『道要』靈祇神鬼品経』の成立と劾鬼法の普及	菊地章太	398
東洋大学 東アジア仏教学術論集 四 (二〇一六・二)	『起信論』と『起信論』注釈書の阿梨耶識観	石吉岩 佐藤厚	405
〃	『大乘起信論』偽撰説と章炳麟	陳繼東 伊吹敦	419
〃	『大乘起信論』と眞諦三蔵をつなぐ『佛性論』	石井公成	429
東洋大学文学部 東洋思想文化 三 (二〇一六・三)	王畿『蓬蓬菜會稽申約』訳注——陽明門下の講会活動記録を読む(一)——	小路口聡	二七四
〃	道濬撰『註菩薩戒經』佚文集成	伊吹敦	438
〃	『楞伽師資記』と『跋陀三藏安心法』——その日本への將來と天台宗への影響——	伊吹敦	459
東洋学園大学 現代経営経済研究 四一 (二〇一六・三)	ホフステードの異文化経営モデルに基づいた日中職場文化の差異に関する研究	李新建 劉新妙	472
徳島大学総合科学部人間社会文化研究 一三三 (二〇一五・二)	蘇軾の「吉服即位非礼」説とその周辺——『尚書』顧命篇の解釈と即位儀礼をめぐって	新田元規	487
常葉大学教育学部紀要 三六 (二〇一六・三)	中国古代儒家文献に見る反戦思想(一) ——『易経』『書経』『礼記』『論語』——	濱川栄	三〇一
〃	中国古代儒家文献に見る反戦思想(二) ——『儀礼』『大戴礼記』『周礼』『詩経』——	濱川栄	三一一
富山大学人間発達科学部紀要 一一一 (二〇一六・二)	日本・中国の大学生におけるストレッチサーとストレスコーピングとの関連についての比較検討	姜信善 高好恵	502
長崎県立大学論集 経営学部・地域創造 学部 五〇・一 (二〇一六・六)	关于樊公須資料の問題(下)	竹内康浩 高译	512

名古屋大学大学院 コミュニケーション論集 (二〇一六・三)	ククロス…国際コミ の祖先祭祀を事例として―	孝子が親を祖先にする ― 党家村における清明節 ― 戦前と戦後の連続性に注目して―	伊藤 ひろみ	516
名古屋経営短期大学紀要 (二〇一六・三)	総合研究所報 一三三	日本と中国の道徳教育政策に関する比較研究 ― 戦前と戦後の連続性に注目して―	武 小 燕	525
奈良大学	総合研究所報 一三三	広東文化としての中国葉草茶	芹 澤 知 広	535

※…特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

第一分冊 (哲学・宗教・文化) 増刊

奈良学園大学紀要 五 (二〇一六・九)	台湾道教の隘死者および溺死者救済儀礼に関する二・三の考察 — 台南地域を例として—	山田 明広	1
二松学舎大学東アジア学術総合研究所 陽明学 一六 (二〇一六・三)	『劉元卿集』(「陽明後學文獻叢書」)について — 陽明学研究室新着図書の紹介を兼ねて—	久米 晋平	一
日本印度学仏教学会 六四・二 (二〇一六・三)	『妙法蓮華経』の古形	藤井 教公	九
”	朝鮮・栢庵性聡の『浄土宝書』について	韓 普光 (泰 植)	5
”	文超『随聞要科自防遺忘集』における観法とその周辺	中西 俊英	9
”	元暉『涅槃宗要』における『二障義』の引用について	藤井 教公	一三
六五一 (二〇一六・二)	思溪版大藏経研究の回顧と課題	上杉 智英	一七
”	基撰とされる『阿弥陀経疏』の諸本について	曹 勢仁	一三
”	『十門和諍論』における会通の方法とその周辺	中西 俊英	一五
”	HOW TO DEAL WITH CHINA George Kennan's Philosophy and Cultural Internationalism	KINOSHITA, Hideaki	一八
日本大学国際関係学部生活科学研究所報 告 三八 (二〇一六・二)	『儒林外史』と江南飲食文化	小田切 文洋	二四
日本大学文理学部情報科学研究所 年次 研究報告書 一六 (二〇一六・七)	日本大学文理学部資料館展示会「現された『満洲国』—満・蒙・影写の多様性と受容—」について—日本大学文理学部所蔵満蒙関係写真資料の保存業務と展示会の報告を中心として—	竹ノ内 悠	二七
日本経済大学 日本経大論集 四五・二 (二〇一六・三)	「カントと中国哲学」	能木 敬次	三四
日本比較文化学会 比較文化研究 二〇 (二〇一六・二)	中国の大学における小学校教員養成カリキュラムの類型に関する研究…総合モデルと分科モデルの比較考察	高 慧珠	四二
”	日本の中国観研究(二)(二〇一四・九—二〇一五・八) — 比較文化的事例研究—	藤田 昌志	四九
日本佛教学会年報 八一 (二〇一六・八)	智顛と王朝の交接	坂本 道生	二〇
日本文化人類学会 文化人類学 七六・四 (二〇一六・三)	家畜の個性性再考 — 河南蒙旗におけるツェタル実践—	シンジルト	五五
”	景観の競合と相律 — 「客家の故郷」における一考察	河合 洋尚	六八
(二〇一六・六)	共生の実際 — 中国西部における民族間の擬親族関係	シンジルト	七七
”	現代台湾社会における民俗の発露 — 二〇一〇年台南市市議会議員選挙の民俗調査から—	柏木 亨介	八七
比較民俗研究会 比較民俗研究 三二 (二〇一七・三)	『法華経』と智顛の教育実践 — 化他と自行の関係を中心に—	俞 学明 松 森 秀幸 訳 著	一〇一
東アジア仏教研究会 東アジア仏教研究 一四 (二〇一六・五)	『念仏鏡』の時代相—大行の事跡を基軸にして—	加藤 弘孝	一一一

東アジア仏教研究会 東アジア仏教研究 一四 (二〇一六・五)	三論学派と中観学派の中道説と二諦説から発見される類似性と差別性 — 古藏と月称を中心に —	南 守 栄	120
”	智顛『菩薩戒義疏』と元暉『梵網経』註釈書の比較研究	佐 藤 厚	120
”	転依(Parivrtti)と真如(Truth)の一考察 — 南北朝期の中国仏教を中心に —	李 子 捷	147
”	法藏の教相判釈の展開と三転法輪説	法 忠 煥	134
”	日本軍占領下の海南島教育 — 海南師範学校を中心に —	趙 従 勝	154
兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究所 教育実践学論集 一七 (二〇一六・三)	張之洞と戊戌変法 — 『勸学篇』における民権批判と清末新政の構想 —	魏 ヲ イック ス トロ ム ダニエル	165
広島史学研究会 史學研究 二九〇 (二〇一五・二)	中国人留學生の日本留学決定要因に関する研究 — Push-and-Pullモデルに基づいて —	宮 古 文 尋	172
広島大学高等教育研究開発センター 大学論集 四八 (二〇一六・三)	明代莆田の『書経』学 — 福建の學術と學業との關係をめぐる一考察 —	李 鶴 成 久 章	172
福岡教育大学 国語科研究論集 五七 (二〇一六・三)	嶽麓書院藏秦簡『占夢書』訳注稿	高 戸 聰	172
福岡女学院大学紀要 人文学部編 二七 (二〇一七・三)	古文泉論 二 — 谷文晁、高子二十境図を描く —	磯 崎 康 彦	172
福島大学 人間発達文化学類論集 二二 (二〇一五・六)	中国少数民族居住地区における留学帰国者の誘致に関する考察 — 内蒙自治区の「留学人員創業園」の創設を中心に —	劉 国 彬	179
福山大学大学教育センター 大学教育論叢 三 (二〇一七・三)	抗日勝利から中華人民共和国建国期、百花斉放時に至る郭沫若の書様式の整理 — 日中戦争終結から一九五〇年代後期の様式変遷と所謂「郭体」の確立時期を巡って —	松 宮 貴 之	179
佛敎大学国語国文学会 京都語文 二三 (二〇一六・一)	董黯図攷 — 吳氏藏北魏石床(二面)の孝子伝図について —	黒 田 彰	183
佛敎大学 文学部論集 一〇〇 (二〇一六・三)	古代中国の民間信仰にみる齋宮	田 阪 仁	194
佛敎大学大学院紀要 文学研究科篇 四四 (二〇一六・三)	顧炎武の考拠と経世 — 『日知録』「郡県」条をてがかりに —	渡 邊 大	193
文教大学 文学部紀要 三〇一 (二〇一六・九)	台湾における「応用日本語学科」に関する一考察	岡 本 輝 彦	185
別府大学日本語教育研究 五 (二〇一五・三)	台湾の後期中等教育における日本語教育の位置づけ	岡 本 輝 彦	189
”	地域表象としてのコーヒー文化 — 中国海南島とエチオピアにおけるグローバル化の様相 —	謝 荔	193
法政大学多摩論集 三三二 (二〇一六・三)	明治・大正の日本論・中国論 — 総論 —	藤 田 昌 志	219
三重大学国際交流センター紀要 一一 (二〇一六・三)	相互の文化を尊重する態度を育てる小学校社会科異文化理解学習 — 日本と中国の箸食文化に着目して —	永 田 成 文	227
”	中国古代における「愛」の測定	片 倉 望	215
三重大学 論集 一七 (二〇一六・三)	羅什訳『法華経』の語学的研究 — 伝達動詞“言”“告”“曰”について —	椿 正 美	235
身延山大学仏教学部紀要 一七 (二〇一六・一〇)			

身延山大学仏教学会 身延論叢 二二 (二〇一六・三)	『妙法蓮華経』の譬喩表現に関する一考察	椿 正美	239
都城工業高等専門学校研究報告 五〇 (二〇一六・一)	退漢学を形成するもの(Ⅱ) —『朱子書節要』の 史的地位—	望月 高明	二二六
武蔵大学人文学会雑誌 四九—一 (二〇一七・一二)	通過《發微論》探討「地理與人事不遠」之風水思 想	水口 拓壽 (水口 拓壽)	250
武蔵野大学グローバルスタディーズ研究 所 Global Communication 6 (二〇一六・三)	明治大正期の東京における中国食文化の受容と中 国人留学生との関わり	樂 殿 武	261
武蔵野大学仏教文化研究所紀要 三三— (二〇一六・三)	蕭子良における菩薩と統治者の合一 —蕭子良と 孔稚珪の問答を通して—	遠藤 祐介	二二三
明海大学日本語学会 明海日本語 二二 (二〇一六・三)	台湾の高校英語教科書の題材内容研究 —「学習 指導要領(二〇〇八年)」準拠版に見られる変化と その要因—	平井 清子	270
明治大学教養論集 五—四 (二〇一六・三)	中国伝統演劇の全国地域別の劇種と劇目の総覧	福 満 正 博	278
〃 〃 五二〇(二〇一六・九)	『朱子語類』卷六十二「中庸二」訳注(五)	本 間 次 彦	二四四
〃 〃 五二九(二〇一七・九)	『朱子語類』卷六十三「中庸二」訳注(一)	本 間 次 彦	二六五
山形県立米沢女子短期大学国語国文学会 米澤國語國文 四五(二〇一六・二)	崔寔『政論』における太平の世への道筋	渡 部 東 一 郎	一八七
山口大学アジア歴史・文化研究会 アジ アの歴史と文化 一九(二〇一五・三)	漢川善書の台書上演 —『販馬記』	阿 林 部 泰 宇 記 萍	一九六
〃 〃 四—(二〇一六・三)	方中履『古今釋疑』の執筆と刊行について	富 平 美 波	317
山口大学 教育実践総合センター研究紀 要 三九(二〇一五・三)	台湾の音楽教育における自文化認識	石 井 由 淑 理	331
〃 〃 四—(二〇一六・三)	台湾における芸術教育について	郭 石 井 淑 理	331
〃 〃 四二(二〇一六・九)	台湾における初等中等芸術教育の実践	上 原 玉 一 玲 明	340
山口大学人文学部 異文化研究 一〇 (二〇一六・三)	お箸の平衡主義文化論序説 —中国伝統文化の精 髓はどこにあるか—	馬 彪	344
〃 〃 一一(二〇一七・三)	中国漆器的形成、演變及其與日本漆器的交流	馬 彪	351
立教大学社会学部 応用社会学研究 五八(二〇一六・三)	戦後七〇年、日本の「中国・中国人」… A I I B、戦争、そして中国人観光客の表象	黄 盛 彬	355
立教大学ランゲージセンター紀要 三四 (二〇一五・二〇)	雑誌『旅』に見られる近代日本人の中国観につい て—大正一三年から日中戦争の終わりまでを対 象として—	楊 沛	363
立正大学法華経文化研究所 法華文化研 究 四二(二〇一六・三)	中国(中原)地域 北朝隋唐時期佛教石刻調査概 報 —平成二二(二〇一〇)年度第一次現地調査に おける基礎的情報—	手 島 一 真	369
〃 〃 四三(二〇一七・三)	チベット語訳『八千頌般若』の改訳過程とその背 景 —近代日本の入蔵者らによる将来本を手がが りとして—	庄 司 史 生	386
立命館大学国際関係学会 立命館国際研 究 二八—四(二〇一六・三)	辞典に見る日・中の国柄(一)	夏 夏 剛	398
〃 〃 二九—一(二〇一六・六)	囲碁の「酷」と人智の「魔」 —究極の頭脳競技の 原理と中・韓・日・人工智能4強の特質・行方(一)	夏 夏 剛	408

立命館大学人文学会 六四六 (二〇一六・三)	立命館文學	日本における中国自閉症スペクトラムのシステムに関する研究	呂 曉 形	430
立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所 漢字學研究 三 (二〇一五・八)	六五一 (二〇一七・三)	清初の滿洲人サマン shaman とその変容 — シャヤン shaman から祭司 priest へ —	増 井 寛 也	437
立命館大學白川静記念東洋文字文化研究所紀要 九 (二〇一六・一)	四 (二〇一六・二)	楚季鐘	山 田 崇 仁	二〇六
琉球大学教育学部紀要 八七 (二〇一五・九)	晉侯蘇鐘	馮侯蘇鐘	佐 藤 信 弥	二二二
龍谷大学 龍谷紀要 三七—二 (二〇一六・三)	寝孳方鼎	馮侯蘇鐘	落 合 淳 思	二二二
臨濟宗妙心寺派 教学研究紀要 一四 (二〇一六・七)	馮侯蘇鐘	馮侯蘇鐘	村 上 幸 造	二二五
早稲田大学教育・総合科学学術院 学術 研究 人文科学・社会科学編 六四 (二〇一六・三)	馮侯蘇鐘	馮侯蘇鐘	福 田 哲 之	二四九
早稲田大学創造理工学部 人文社会科学 研究 五五 (二〇一五・三)	馮侯蘇鐘	馮侯蘇鐘	今 場 正 美	二五七
早稲田大学多元文化学会 多元文化 六 (二〇一七・一)	馮侯蘇鐘	馮侯蘇鐘	芳 村 弘 道	二六四
早稲田大學東洋哲學會 東洋の思想と宗 教 三三三 (二〇一六・三)	馮侯蘇鐘	馮侯蘇鐘	張 中 瑋	453
〃	三四 (二〇一七・三)	董康『書舶庸譚』九卷本譯注(六)	陳 浩 麗	
〃	〃	台湾における特別支援教育の新学習指導要領に關する検討—専門高校における障害のある生徒のインクルーシブ教育に着目して—	森 浩 平	
〃	〃	『周易略例』明文通變における『繫辭傳』の影響について(下)	西 川 靖 二	二七三
〃	〃	道信「二行三昧」考	中 島 志 郎	二八二
〃	〃	満洲国における朝鮮人女子青年教育 — ライフヒストリーの分析から —	新 井 敦 子	459
〃	〃	現代中国におけるイマージョン英語教育に関する考察 — 陝西師範大学付属小学校での実践に焦点を当てて —	花 井 敦 子	470
〃	〃	「広東戯班文書」と広東地方における演劇について — 清末 民国期の広州を中心に —	新 保 敦 子	478
〃	〃	『新編天主実録』訳注(一)	熊 芦 遠 玲	492
〃	〃	現代中国の地方演劇における新編歴史劇 — 「朱元璋斬嬪」の展開から —	石 富 青 地	516
〃	〃	『老子』の形而上學と「自然」思想 — 北京大學 齋に基づいて —	川 浩 二	
〃	〃	顔之推の佛教信仰	池 田 知 久	二九六
〃	〃	羅欽順の『困知記』に内在する「理論的矛盾」をめぐって	渡 邊 義 浩	三〇九
〃	〃	『禮記』燕義篇の成篇過程と「義」の役割	金 香 花	三三八
〃	〃	王陽明の江西時代における「思歸」をめぐって	黒 崎 惠 輔	三三六
			劉 珉	三三六

第二分冊 (文学・語学) 上

愛知大学 言語と文化 三四 (二〇一六・一)	汉语語篇重述語分析と主要語句分析間的互动	鄭 高 咏	1
愛知大學文學論叢 一五三 (二〇一六・三)	江沅『説文解字音均表』の成書と刊行	臼 田 真 佐 子	12
愛知学泉大学現代マネジメント学部紀要 五一 (二〇一六・一二)	日中対照研究方法論(二) ―「給・N+V」表現とそれに対応する日本語使役表現、受益表現(一)―	成 戸 浩 嗣	18
愛知教育大学 外国語研究 四九 (二〇一六・三)	「V+着」と「V+テイル」の対照研究(七)	時 衛 国	25
愛知県立大学外国語学部 紀要 四八 言語・文学編 (二〇一六・三)	台湾新文学運動と厨川白村 ―北京からやって来た「大正生命主義」―	工 藤 貴 正	35
愛知淑徳大学論集 交流文化学部篇 六 (二〇一六・三)	中国語の方向補語「过」「过来」「过去」の意味について ―日本人の中国語学習者を対象とする中国語学習という視点から―	蘇 雪 蓮	49
岩手大学人文社会科学学部紀要 アルテス リベラレス 九九 (二〇一六・一二)	Nominal relational morphology of Syangia Gungung	Fuminobu NISHIDA	55
愛媛大学人文学会 人文学論叢 一八 (二〇一六・一二)	中国内モン族自治区赤峰市における二言語生活についての予備的考察(上) ―言語景観学の視点から―	小 林 陽 子	62
追手門学院大学アジア学会 アジア学科 年報 九 (二〇一五・一二)	金華道情調査報告・その一 ―二〇一二年三月・二〇一三年三月―	松 家 裕 子	一
桜美林大学 桜美林論考 人文研究 七 (二〇一六・三)	石碑と漢詩	伊 藤 直 哉	68
大分大学経済論集 六七・一二・三 (二〇一五・九)	中国黒龍江省チチハル市におけるダグル語の実態	包 聯 群	74
大阪大学言語文化学会 大阪大学言語文 化学 二五 (二〇一六・三)	中国刊行朝鮮語文法書目	植 田 晃 次	85
大阪大学千代中世文学研究会 詞林 五九 (二〇一六・四)	中国における日本古典文学への一考察 ―「弱水三千」から展開する日中語の差異を中心に―	越 野 優 子	八
大阪大学大学院文学研究科紀要 五七 (二〇一七・三)	言論統制下の文学テキスト ―蘇軾の創作活動に即して―	浅 見 洋 二	二二
大阪教育大学 学大国文 五八 (二〇一五・二)	清末児童文学と明治児童文学の交錯点 ―清末期の『蒙学报』と明治期日本の『少年世界』―	成 實 朋 子	四二
大阪産業大学論集 人文・社会科学編 二九 (二〇一七・三)	王平陵「漩渦」について	中 野 知 洋	90
大阪府立大学 言語文化学研究 言語情 報編 一一 (二〇一七・三)	漢語意合語法について	張 黎	100
大谷大学文藝學會 文藝論叢 八七 (二〇一六・〇)	中国語における「方言」のイエス・ノー疑問文の構文パターンについて	張 麟 声	109
大妻女子大学国文学会 大妻国文 四八 (二〇一七・三)	『満洲国文学』に関する新資料解説 ―『偽滿時期文学作品集叢書』全二〇冊を中心に―	李 青	119
大手前大学論集 一六 (二〇一六・三)	魯文の報条(一)	高 木 元	五一
”	噓の俗信を巡って ―日本中国の「噓」の比較―	丹 羽 博 之	六一
”	郭沫若による『里見淳作 雪の夜話』および魯迅法による『芥川龍之介作 羅生門』の中国語訳の語法	大 高 順 雄	127

お茶の水女子大学人文科学研究 二二 (二〇一六・三)	Two Types of Disjunctions in Mandarin Chinese	Satomi ITO	149
お茶の水女子大学日本語文化化学研究会 言語文化と日本語教育 四八・四九 (二〇一五・六)	「誘い」談話の「承諾」場面の終結部における中日 言語行動の比較 ―負担度が異なる二場面から―	黄明淑	158
神奈川大学人文学会 人文研究 一八八 (二〇一六・三)	中国語における最上級比較構文の研究	于飛	164
神奈川大学 人文研究所報 五六 (二〇一六・九)	日語母語使用者汉语副詞「就」和「才」的习得研究	劉羈	175
神奈川大学大学院 言語と文化論集 二三(二〇一七・二)	時態助詞「着」の意味と時相構造	横山昌子	180
金沢大学歴史言語文化学系論集 言語・ 文学篇 八(二〇一六・三)	中国語式辞スピーチの構成要素と展開パターン ―日本語式辞スピーチとの比較―	深澤のぞみ 陳会林	192
金沢学院大学紀要 一五(二〇一七・三)	自然会話における「不会吧?」の表現機能につい て	王林文慧 林玉	199
關西大學中國文學會紀要 三五 (二〇一四・二)	『旧唐書』音楽志訳注稿(一)	隋唐樂府文學研 究班 長谷部 狩野雄剛	六八
関西大学文化交渉学教育研究拠点 東ア ジア文化交渉研究 九(二〇一六・三)	魯迅とバイロンの宗教的詩劇『カイン』	陳維	202
〃 〃 一〇(二〇一七・三)	有關《拜客問答》的若干問題及其他	内田慶市	211
〃 〃 〃	我們為什麼需要二字詞? ―語言接觸与汉语的近代 演化―序說	沈国威	218
北九州市立大学外国語学部紀要 一四二 (二〇一六・三)	現代吳方言における古匣母細音字・喻母字の声母 表記について	平田直子	227
岐阜聖徳学園大学紀要 外国語学部編 五四(二〇一五・一)	清末民初北京話語詞散記(一)	刘一之	235
〃 〃 〃	台湾最初の児童文学家・西岡英夫研究序説二 ―大正期より昭和期の活動	中島利郎	241
〃 〃 〃	清末民初北京話語詞散記(二)	刘一之	251
岐阜女子大学紀要 四六(二〇一七・一)	『集韻』「俗作某非是」	住谷芳幸	258
汲古書院 汲古 七二(二〇一七・二)	浙江大学蔵竹簡『左伝』は研究資料たり得るか 和刻本『忠義水滸伝』二集について ―沢田一斎 の関与をめぐって―	大西克也 宮本陽佳	八八 九一
九州大学韓国言語文化研究会 韓国言語 文化研究 二五(二〇一七・一)	日中韓三言語における笑う様子を表す擬態語の比 較対照研究 ―笑う行為者の性別、年齢による違 いを中心に―	李大年	264
九州大学言語学論集 三六 (二〇一六・二)	De 補語構文の解釈と有界性	徐佩伶	275
九州大学大学院 言語文化論究 三七 (二〇一六・一〇)	台湾における芥川龍之介受容の諸相	秋吉收	283
九州大学大学院 文学研究 一三三 (二〇一六・三)	劉辰翁評との比較を通じた李賀詩王琦注の分析	奥野新太郎	九五
九州共立大学研究紀要 六一一 (二〇一五・九)	「満洲国」の日本語教育についての一考察 ―満洲国語研究会を中心に―	包賀喜格図 包阿柴	295

九州産業大学国際文化学部紀要 六一 (二〇一五九)	周作人・錢稻孫と九州の中国学研究者たち	呉紅華	299
京都大学言語学研究 三四 (二〇一五・一一)	カム地域のアムドチベット語・道孚県色卡 [Serkha]方言の音声記述	鈴木博之	307
京都外国語大学・京都外国語短期大学 研究論叢 八四 (二〇一五・一)	無意志的な自律移動を表す述補構造 — 梓付けパ ターンをめぐる —	島村典子	317
京都女子大学 人文論叢 六四 (二〇一六・二)	杜牧の「李戡墓誌銘」について(下)	愛甲弘志	二〇八
京都西山短期大学 西山学苑研究紀要 一〇 (二〇一五・三)	宋代文人の目を通して見た蜀僧敏行(上)	吉井和夫	二〇〇
〃 〃 一一 (二〇一六・三)	宋代文人の目を通して見た蜀僧敏行(下)	吉井和夫	二一九
京都府立大学学術報告 人文 六八 (二〇一六・一一)	『水滸傳』諸本考	小松謙	二三九
京都府立大学国文学会 和漢語文研究 一四 (二〇一六・一一)	金聖歎本『水滸傳』考	小松謙	二五八
〃 〃 〃	『花草新編』小考 — 分調本『草堂詩餘』の影響 と『花草稗編』への継承 —	藤田優子	二七一
〃 〃 一五 (二〇一七・二)	『水滸傳』本文の研究 — 「表記」について —	小松謙	一八四
〃 〃 〃	伍子胥拳鼎の物語	田村彩子	一九八
共立女子大学 文學藝術 四〇 (二〇一六・七)	誤植の殿堂『説日語』 — その誕生と変遷(六)	國分建志	328
杏林大学 外国語学部紀要 二七 (二〇一五・三)	大沼枕山江戸時代末期の詠史詩について	詹滿江	二〇八
近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編 七二 (二〇一六・一一)	“Becoming Chinese”: Reconfiguration of Chinese American Identity in Amy Tan's <i>The Joy Luck Club</i>	So Fujii	338
〃 〃 〃	江苏一甲方言音系初探	大季西	347
金城学院大学論集 人文科学編 二二 (二〇一六・三)	江南における桐城派の拡大 — 吳德旋を中心にし て	浅井邦昭	二二三
近代東西言語文化接触研究会 或問 二九 (二〇一六・六)	江沙維手稿之考证 — 有关对汉语语法的分析	朱凤	352
〃 〃 〃 三二 (二〇一七・六)	江戸時代唐船齋來の『唐詩選』とその再版本 対译と解読・严复《政治讲义》Ⅲ	松浦章	358
〃 〃 〃	《醒世姻縁傳》(第三〇回)訳注(其二)	郭沈玉	365
熊本大学社会文化研究 一五 (二〇一七・三)	《醒世姻縁傳》(第三〇回)訳注(其二)	胡玉均	373
熊本大学 文学部論叢 一〇七 (二〇一六・三)	わたしがいちばんうつくしいとき — 中国現代詩 選(その四) 席慕容『七里香』	植田亮	373
熊本学園大学 文学・言語学論集 二二 (二〇一四・一一)	《汉俄合璧韵编》中所见的一九世纪汉语语音	石汝杰	383
		席慕容 西槿 / 慕蓉 西槿 / 慕蓉 西槿 / 慕蓉 西槿 / 慕蓉	二三三 二三三 二三三 二三三

熊本学園大学 文学・言語学論集 二二二・二二一(二〇一七・二)	馮夢龍編吳語民歌集《山歌》里的官話	石 汝杰	391
慶應義塾大学 藝文研究 一一一 (二〇一六・二)	『滄浪詩話』詩弁篇における「以文字為詩」の「文字」の意味について	須山 哲治	二三五
〃	笑う三国志 ―正史『三国志』感情表現初探―	吉永 壮介	二四六
〃	林徹因と「九十九度中」	櫻庭 ゆみ子	二五四
〃	日本と中国における『ユリシーズ』のつながり ―断片的形式を中心に―	橋本 陽介	398
慶應義塾大学 日吉紀要 中国研究 一〇 (二〇一七・三)	西太一宮をお祀りする ―北宋の官僚文人の生活と文学―	村越 貴代美	※
〃	明治期の日本における中国小説史研究について ―文学史における記述を中心に―	溝部 良恵	※
県立広島大学人間文化学部紀要 一一 (二〇一六・三)	台湾の日本語作家・呉濁流と黄靈芝の比較考察	下岡 友加	二六四
皇學館大学人文學會 皇學館論叢 四九・二(二〇一六・四)	張文宏「正岡子規漢詩の考察 ―中国古典の受容の様相―」の漢詩について	高橋 陽一	二六九
神戸市外国語大学外国語研究 九二 アジア言語論叢 一〇(二〇一六・二)	韻書と等韻図Ⅱ(元)	太田 斎	*
神戸市外国語大学研究科論集 二〇 (二〇一七・二)	『博雅音』における重紐の対立について 附論…『博雅音』における音注の重層性	季 鈞 菲	405
神戸市外国語大学 神戸外大論叢 六六・一(二〇一六・二)	〃 舒声促变〃及其痕迹	太田 斋	422
六七四 (二〇一七・二)	校注『清語易言』	陳竹 越	433
〃	北京大学蔵『玉霜秘藏曲』の言語について ―『十全福』を中心に―	陳 曉	454
六七四 (二〇一七・二)	中国語における外来語の差異とその受容	古川 典代	462
神戸松蔭女子学院大学研究紀要 文学部 篇 五(二〇一六・三)	雑誌『改造』と中国の関連性について	劉 妍	470
〃	大典頭常著『尺牘式』における助数詞(量詞)	三保 忠夫	二七六
國學院大学 國學院雑誌 一一七・二 (二〇一六・二)	文学の動機	川合 康三	二八五
〃	嵯康「私私論」の文学的考察	大上 正美	二九五
〃	「鶯鶯伝」における作者の自照性について	赤井 益久	三〇六
〃	蘇軾『書伝』における史事の引用について	青木 洋司	三二七
〃	内なるココロを表出する ―段注の「習」を中心に―	大橋 由美	三三六
〃	口承三国志の研究 曹操伝説を例として	立石 展大	三三六
〃	ミニエン・ヤオ族の還家願儀礼で読誦詠唱される『大歌書』の異本対照の試み	廣田 律子	三四七
國學院大学紀要 五四 (二〇一六・二)	段注と「アミ」を表わすモジについて ―率・畢を中心として―	大橋 由美	480
国際アジア文化学会 アジア文化研究 一三三(二〇一六・六)	中国語の推量関係について ―日本語に訳す例及び表現上での特徴と区別―	呂 興 師	三六二

国際アジア文化学会	アジア文化研究	現代中国「ネット四字熟語」事情	張	文碧	三七
二四(二〇一七)					
国際日本文化研究センター	世界の日本	日本統治期台湾の通訳者、通訳をめぐる近年の研究動向	富田	哲	494
研究二〇一七(二〇一七)	国際的視野からの日本研究				

* …… 論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

* …… 特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

第二分冊 (文学・語学) 下

国士館大学アジア・日本研究センター Asia Japan Journal 11 (二〇一六・三)	台湾原住民族における〈文学モチーフ〉と〈物語の文法〉	山田 仁史	1
国士館大学文学部人文学会 国士館人文学 六 (二〇一六・三)	郭沫若の漢詩素養と創作	藤田 梨那	10
駒沢女子大学 研究紀要 二二 (二〇一四・二)	「優しい」のニュアンス —「柔和」と「溫柔」—	保坂 律子	23
札幌大学文化学部紀要 比較文化論叢 三二 (二〇一六・三)	中国語訳「伊勢物語」の分析(一) — 銭訳、豊訳、林訳の比較から —	田中 寅幹 鄭寅 隴	27
滋賀大学教育学部紀要 六五 (二〇一六・三)	中国語結果複合動詞の分類と結合度	于 一 棨	36
首都大学東京人文学部研究科 人文学報 五〇八 (二〇一五・三)	『金瓶梅詞話』における「く不曾う」と「く沒有?」	荒木 典子	43
五三三・二二 (二〇一七・三)	白話文における「完」の歴史	劉 森	49
上智大学国文学会 国文学論集 四九 (二〇一六・一)	『漢語語法学史』について — 清末民国期の時代区分を中心に —	田村 新	57
鈴鹿大学紀要 二二 (二〇一六・三)	『今古奇観』の初期刊本 — 宝翰楼本から同文堂本まで —	丸井 貴史	—
成城大学 成城文藝 一三九 (二〇一七・四)	戦後台湾俳句小史(一) 戦前期台湾の国語教育と俳句・短歌 — 生活表現の「日本化」・「近代化」	磯田 一雄	71
撰南大学外国語学部 撰南人文学 二二三 (二〇一六・一)	戦後台湾俳句小史(二) 台北俳句会の誕生と会長・黄靈芝の登場	磯田 一雄	87
専修大学学会 専修人文論集 九八 (二〇一六・三)	戦後台湾俳句小史(三) 創成期台北俳句会の基本問題 — 『台北俳句集』第一集と第六集の「はじめに」と掲載句	磯田 一雄	105
大東文化大学 外国語学会誌 四五 (二〇一六・三)	頭部のジェスチャーを描く表現に関する日中対照研究(その一)	兪 鳴蒙	125
大東文化大学紀要 五四 (二〇一七・三)	木下天太郎譯の『子不語』	中野 清	一〇
大東文化大学 人文科学 五五 (二〇一七・三)	清・周春著『杜詩双声疊韻譜括略』の構成と諸術語の定義について	丸井 憲	一六
大東文化大学 人文科学 五五 (二〇一七・三)	中国語の初級テキストに求められる条件とは — 第二外国語における週一回の授業を例に —	丸井 憲	一六
大東文化大学 教職課程センター紀要 二二 (二〇一七・二)	「上十来／去」と客体との関係について	高橋 弥守彦	142
	「把」構文における可能表現の否定について	高橋 弥守彦	142
	『普通話三千常用詞表』と『古今小説』 名詞 二	小路口 ゆみ	147
	「(动态动词十)上十来／去」と客体との関係について	中村 浩一	152
	「真面目者」の憧憬 — 沈從文小説における都市部女性の服飾叙述描写から見えるもの(下編)	高橋 弥守彦	160
	中国新时期文学の一断面 — 慕容著『人到中年』について —	山内 智恵美	169
		大島 吉郎	176

大東文化大学 教職課程センター紀要 二(二〇一七・二)	中国語の修飾語の語順について —「樹形図」の 教学への応用—	山口直人	180
大東文化大学語学教育研究所 語学教育 研究論叢 三三三(二〇一六・三)	使役表現における中日両言語の視点について	高橋 弥守彦	183
〃	《朱子語類》における方向補語	蔡 娟	192
〃	奇数と偶数	高橋 弥守彦	201
〃	試論現代汉语的「別／不要……(了)〃	王 学群	210
〃	法律新語「領土」の成立とその周辺	藤本 健一	218
大東文化大学人文科学研究所 中国美学 範疇研究論集 四(二〇一六・三)	摯虞「文章流別論」譯注(一)	宮須萩秋 下山野谷 聖哲友幸 俊治範治	227
〃	摯虞「文章流別論」譯注(二)	宮須萩秋 下山野谷 聖哲友幸 俊治範治	233
〃	明末清初の記憶と懷舊 —余懷と姜垓の交遊を手 がかりに—	小塚 由博	三三三
大東文化大学中國學論集 三四 (二〇一六・二)	名詞の語彙的な意味における「視点」のあり方 —中日両語の比較を中心に—	彭 広陸	238
大東文化大学大学院外国語学研究所 外 国語学研究 一七(二〇一六・三)	中日両言語の視点について	高橋 弥守彦	245
〃	『水滸伝』の日本語訳の比較研究	趙 昕	250
拓殖大学語学研究 一三三 (二〇一四・二)	中国語自律学習を促す試み —中検 Web を用い た e-Learning をサンプルとして—	永江 貴子	263
〃	中国における言語表現の単純化・単純化現象につ いて	趙 昕	273
筑紫女学園大学 研究紀要 一二 (二〇一七・一)	現代華文文学にみるマレーシア社会問題の諸相	石 其琳	277
筑紫女学園大学 人間文化研究所年報 二七(二〇一六・八)	現代マレーシア華文文学への視角	石 其琳	284
筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大 学部 紀要 一一(二〇一六・一)	魯迅「女にかんして(關於女人)」について —瞿秋白の原文への添削と「孫寿」故事引用の特 徴をめぐって—	桐 島 薫子	292
中央大学人文科学研究 人文研紀要 八五(二〇一六・九)	六朝詩における「思旧賦」	河野 哲宏	五〇
〃	言語政策と評価に関する一考察 —中華人民共和 国の「都市における言語・文字に関する事業の評価 —制度を事例として—	小田 格	299
中央大学文学部紀要 言語・文学・文化 一一七(二〇一六・三)	民国期の黄仲則再評価と瞿秋白 —獄中詞(浣溪 沙)との関連で—	陳 正靚	六五
〃	『李陵・司馬遷』注解(四)	山下 真史	八一
〃	李漁『閑情偶寄』所収「行樂之法」の三篇をめぐ って	村田 秀明	八一
〃	六朝の文学用語に関する一考察 —「沈思翰藻」 をめぐって—	材木谷 敦	九七
中京大学文学部紀要 五一・一 (二〇一六・二)		福井 佳夫	一〇五

中國古典學會 中國古典研究 五八
(二〇一六・一二)

”

中国四国教育学会 教育学研究紀要
六一一 (二〇一六・三)

筑波大学 論叢 現代語・現代文化
一四 (二〇一五・三)

筑波大学大学院 国際日本研究 七
(二〇一五・三)

つくば国際大学 研究紀要 二二
(二〇一六・三)

東海学園大学日本文化学会 東海学園言
語・文学・文化 一五 (二〇一六・三)

東京大学 東洋文化研究所紀要 一六九
(二〇一六・三)

”

一七一 (二〇一七・三)

東京大学大学院総合文化研究科・教養学
部アジア地域文化研究会 アジア地域文
化研究 二二 (二〇一六・三)

東京大学大学院総合文化研究科 言語情
報科学 一五 (二〇一七・三)

東京学芸大学紀要 人文社会科学系 I
第六八集 (二〇一七・一)

”

東京学芸大学国語国文学会 学芸国語国
文学 四八 (二〇一六・三)

”

”

東京工業大学外国語研究教育センター
言語文化論叢 二二 (二〇一六・二)

同志社大学グローバル地域文化学会 紀
要 六 (二〇一六・三)

同志社大学人文学会 評論・社会科学
一一七 (二〇一六・六)

同志社女子大学 学術研究年報 六五
(二〇一四・二)

東北大学言語学論集 二四 (二〇一六・三)

江南の詩山・敬亭山考 — 山の発見と憧憬と —

「此外」攷 — 杜甫「江村」詩尾聯釋疑

仁井田好古の『詩経』桃夭篇解釋

あいさつ表現とコミュニケーション — 日本語と
中国語の言語文化の差異について —

语气副詞「确实」的语法化

「改善要求発話」の構成要素に関する日中対照
— 認知言語学的アプローチから —

『訓民正音解例』と朱子学の陰陽五行論

詩余ものがたり 北宋編(五) — 清・葉申薌『本事
詞』 —

繁過碩人による西廂記の改編について

豊子愷による落語の翻案童話「化かされた博士」
について

西廂記における夢

熊式一のロンドンにおける文学活動 — 中国古典
戯曲の英訳・出版・上演を手掛かりに —

欧文資料から見る二〇世紀前期上海語の音声・音
韻的特徴

中華書局編輯部編『詩詞曲語辭典』に見る唐詩
的特徴的な用法について(二)

漢語の表記と古辞書の位相 — 「掃除」の場合 —

李騫「釈情賦」と趙郡の李氏

謝靈運における山水の発見

杜牧撰『注孫子』の故事と杜佑撰『通典』に関す
る一考察

漢陽時代の姜白石

アーサー・ウェイリー著『袁枚 — 一八世紀中国の
詩人』(中国語訳)(続二)

複合動詞の結果複合動詞について — 日本語の結果
複合動詞との対照から —

台湾の「たいまつプログラム」にみる言語の教育
方法 — 『新住民母語生活字彙教材』の分析 —

『桑華蒙求』概略・出典覚書(下巻)

『説文解字繫伝』反切校勘記(三) — 内的再構に
よる —

植木久行 三

宇野直人 三

江口尚純 三

林宇一萍 317

林天明 320

李国玲 325

小林寛 334

松尾肇子 二一八

廣瀬玲子 二二三

大野公賀 二二三

廣瀬玲子 二四九

範麗雅 342

張珮 353

佐藤正光 362

高橋久彦 一六三

高橋久子 一六三

土屋聡 一八一

佐藤正光 一八六

高橋未来 一九一

村越貴代美 一九七

劉岸偉 372

山森良枝 384

黄琬茜 398

本間洋一 二〇二

東ヶ崎祐一 409

東北大学高度教養教育・学生支援機構紀要 三(二〇一七・二)	東北大学初修中国語ブレンディッドラーニング用教科書の設計	趙石野	422
〃	東北大学初修中国語ブレンディッドラーニング用教科書の開発	趙立秀 張敏	426
東北大学大学院 言語科学論集 二〇(二〇一六・二)	大学生における親族外での呼称の使用に関する日中対照研究	劉寧	430
東北大学大学院国際文化研究科 国際文化研究科論集 一三(二〇一五・二)	白話小説受容史から見た『支那文學大観』の位置付けについて ― 文言・白話小説の受容方法を中心に ―	勝山稔	二二七
東洋大学アジア文化研究所 研究年報 五一(二〇一七・一)	日汉翻译 ― 『天声人语』(二〇〇六・三・一〇)―	续三义	436
東洋大学経済研究会 経済論集 四一―二(二〇一六・三)	経済学部の中国語教育に関する一考察(五) ― ビンイン習得ストラテジーを中心に ―	竹中佐英子	441
東洋大学大学院紀要 五二 文学研究科 日本文学文化(国文学)専攻 (二〇一六・三)	日本統治期創建、台湾鄭成功廟縁起(前)	小俣喜久雄	二二七
〃 五三(二〇一七・三)	中国の日本語教科書における「けっこう」の扱いに関する考察	張琳	446
徳島大学総合科学部 言語文化研究 二四(二〇一六・二)	无思想之思想 ― 论李长声的“知日”话语	邵迎建	460
獨協大学国際教養学部 マテシス・ウニウエルサリス 一七―二(二〇一六・三)	現代中国書面語における日本語由来の虚詞	武信彰	470
〃 一八一(二〇一六・二)	中国語話者の子供の作用域の解釈	柴田奈津美	482
鳥取大学教育研究論集 六(二〇一六・二)	鳥取大学における中国語教育について	崎原伏麗良	495
富山大学人文学部紀要 六五(二〇一六・八)	『詩経』における情景描写の変遷 ― 大雅の開国叙事詩を中心に ―	大野圭介	二三五
豊橋創造大学紀要 二二(二〇一七・三)	漢文テキストの縦書き『』表示に関する検討	山口多恵子	498
長野県短期大学紀要 七二(二〇一六・七)	杜甫の詩における鳥のイメージについて ― 『鸚鵡』と『鶴鶴』に託した杜甫の思い ―	谷口眞由美	二四五
名古屋大学言語文化研究会 ことばの科学 二九(二〇一五・二)	日韓中同形二字漢字語の品詞性ウェブ検索エンジン	于岡劭津雄	502
〃 三〇(二〇一六・二)	「在」および「有」構文による空間表現の統語構造	張岡賀津雄	512
〃	中国日本語学習者作文中接続詞の使用現状研究 ― 与日本語母語者対比 ―	韩野志	521
〃	“可以”の伝達機能と語用論的特徴	吉野裕子	528
名古屋大学 多元文化 一四(二〇一四・三)	「満洲」育ちの童話作家・山田健二 ― 『満洲』次世代の主体性を描くということ ―	魏川晨	536
名古屋大学大学院 言語文化論集 三八―二(二〇一七・二)	他動詞が用いられる中国語の受身文について ― 完遂義を中心に ―	路浩宇	544
	中国語の結果補語“掉”の用法について	丸尾誠	550

名古屋大学大学院国際言語文化研究科 言葉と文化 一七 (二〇一六・二)	周作人の初期児童文学研究における日本からの影 響	鄭 惠	557
名古屋外国語大学外国語学部 紀要 四七 (二〇一四・八)	明代の文人と西湖を味わう —高濂著『四時幽賞』試訳(上)— 一九二八年中頃から一九三二年における魯迅翻訳 のソ連文学覚え書(上)	湯谷 祐三 中井 政喜	二五二 566
〃	初級を終えたら何を教えるべきか —中国語準中級・中級テキストで取り上げられる 補語について—	蟹江 静夫	579
〃	台湾語の「來去(LAI-KHI)」の概念と意味	劉 綺紋	587
〃	沈從文『辺城』論(二)	黄 媛玲	604
〃	明代杭州の年中行事 —田汝成『熙朝樂事』訳注	湯谷 祐三	二六四
名古屋学院大学論集 言語・文化篇 二八一 (二〇一六・一〇)	J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音へ の影響(六) —共通語カバー曲と比較して—	樋口 勇夫	610

※……特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

第二分冊 (文学・語学) 増刊

南山大学 アカデミア 文学・語学編 一〇〇・一〇一・六六)	蘇軾詩注解(十九)	西原中 蔡本 岡田 直純 裕和 史毅 義淳	一
〃	蘇軾詩注解(二十)	西原中 蔡本 岡田 直純 裕和 史毅 義淳	一八
〃	蘇軾詩注解(二十一)	西原中 蔡本 岡田 直純 裕和 史毅 義淳	三四
新潟大学大学院 言語研究 一 (二〇一六・三)	〃能〃と〃会〃における能力から可能性の意味展開 について	張素娟	1
〃	進行相形式〃在〃と〃着〃の機能的違いと使い分け	尹美蓮	8
〃	現代中国語の受身マーカー〃被〃と〃让〃について —使用条件と意味分析を中心に—	杜暉	16
〃	進行相を表す〃在〃と〃着〃の比較研究	鄭瓊花	24
〃	完了相 — 关于制约〃完〃和〃过〃的用法 的深层因素	朱继征	32
〃	〃跳下床〃と〃跳下水〃 — 〃V十下十L〃構文に ついて—	陳瑩	37
〃	论动相 — 汉语的动相形式与内涵—	朱继征	42
新潟大学大学院 現代社会文化研究 六三(二〇一六・一一)	様態を表す「V上」と「V起来」の比較研究	鄧鵬	48
〃	〃着〃の基本的な文法的意味と意味特徴	鄭瓊花	53
新潟大学大学院 表現文化研究 二二 (二〇一六・三)	郁達夫「沈淪」における風景描写から見る語り の視点	劉靚	61
二松學舎大学 日本漢学研究センター 日 本漢文学研究 一一(二〇一六・三)	『積大典』『唐詩解頤』の特殊な訓読について — 祖徠の詩読解を受け継ぐもの—	佐藤進	五一
二松學舎大学 東アジア学術総合研究所集 刊 四六(二〇一六・三)	『詩經』に於ける「逍遙」に就いて	遠藤寛朗	六七
二松學舎大学論集 五九(二〇一六・三)	初級中国語教育について — 中規模クラスに於け る四技能の総合的強化の試み	松浦史子	65
二松學舎大学大学院 二松 三〇 (二〇一六・三)	「文」から「文学」への展開 — 古代変質の指標 として—	牧角悦子	八一
〃	魯迅『藤野先生』 — 「幻燈」と「写真」	江藤博	九一
日中対照言語学会 日中言語対照研究論 集 一七(二〇一五・五)	中国語の〃会〃に関する一考察 — 「I・能力」「II・長じる」ではない第Ⅲ類の〃会〃 を中心に—	王其莉	77

広島大学大学院文学研究科 比較日本文学研究 九 (二〇一六・三)	程度副詞「更」と「还」の意味内容に関する一考察	劉傑	278
広島女学院大学大学院 言語文化論叢 一九 (二〇一六・三)	上代・中古における動詞を表す「屈」字の意味——中国古典文献の「屈」字の意味と比較して——	柚木靖史	九八
広島市立大学 広島国際研究 一三三 (二〇一七・二)	中国語の味を表す場面における「話者に意識されない男女差」——母語話者を対象としたアンケートに基づく事前調査——	武藤彩加	290
福岡大学研究部論集 A: 人文科学編 一五二 (二〇一六・一)	陳望道『修辭学発凡』第六篇「積極修辭」二 乙類 意境上の修辭 付録 霍四通「意境上の辞格研究の当代進展」	甲斐勝二 間ふさ子 羽田ジェンカ 霍四通	297
一六一 (二〇一六・二)	陳望道『修辭学発凡・第七編』訳注「積極修辭三 (上) 丙類 言葉を利用した修辭法」付録 霍四通「現代における析字などの『言葉を利用した修辭法』」五種の研究の進展について	甲斐勝二 間ふさ子 羽田ジェンカ 霍四通	308
福岡大学言語教育研究センター紀要 一五 (二〇一六・二)	从教「句子」到教「话语」——试谈「话语理论」在对日汉语教学中的运用——	趙葵欣	321
福岡大学人文論叢 四七四 (二〇一六・三)	汉语方言代词回指处置句的类型与差异	趙葵欣	325
〃	王運熙《唐宋伝奇と古文運動の關係試論》訳注	東斐英寿	339
〃	近代汉语里的两个假设连词——兼论假设义「要」的主观性	趙葵欣	350
〃	王諾「生態文学概論 (上)」	徐斐達	362
〃	《新編五代史平話》兩種版本之比較	川澄哲也	二二
〃	《官話指南》助动词系統研究	徐斐達	381
福岡国際大学紀要 三五 (二〇一六・三)	《汉语拼音正词法基本規則》について	趙葵欣	401
福岡女子大学国際文理学部紀要 国際社会研究 五 (二〇一六・二)	『自然』という雑誌について——文学者魯迅と陶鼎探のかかわりに関する考察——	小川郁夫	414
佛敎大学国語国文学会 京都語文 二二 (二〇一六・一)	南京博物院藏後漢画像石の魯秋胡子図——新出の列女伝図について——	武継平	421
文敎大学大学院言語文化研究科紀要 二 (二〇一六・三)	『唐話纂要』における圈点の使用実態について	黒田彰	二二八
北星学園大学文学部 北星論集 五四二 (二〇一七・三)	張文環の日本語文学作品における表象傾向の分有と深化——一九四〇〜四三年を対象として——	柯愛霞	430
北海道大学 文学研究科紀要 二五〇 (二〇一六・二)	漢字字体史の資料と方法——初唐の宮廷写経と日本古辞書——	宮崎靖士	二五二
北海道大学大学院文学研究科 北方人文研究 一〇 (二〇一七・三)	シネヘン・ブリヤート語の二種類の未来表現——分詞の定動詞化に関する三類型——	池田証壽	443
松山大学総合研究所 言語文化研究 三七一 (二〇一七・九)	《三国志通俗演義》中语气助词的分布——兼论《春秋左氏传》是一部什么书	山越康裕	461
		孟子敏	470

松山大学総合研究所 言語文化研究 三七―(二〇一七・九)	“協商”与汉语大通方言的語言变化	川澄哲也	480
三重大学国際交流センター紀要 二一 (二〇一六・三)	受身表現について ―日本語との対照から見た考察―	藤田昌志	485
”	日本語表現と中国語表現の相違 ―誤用例分析・日中対照表現との関連で―	藤田昌志	492
”	加訳(日→中)再論 ―接続詞(中)・副詞(中)の加訳(日→中)について―	藤田昌志	498
”	顔楽亭からの眺め ―北宋中期における閑居の側面について―	湯浅陽子	一六〇
三重大学文学部 人文論叢 三三 (二〇一六・三)	中国古典解釈における日中間の異同 ―高等学校国語教材を対象として―	柴田清継	506
武庫川女子大学 言語文化研究所年報 二六 (二〇一六・三)	明治十五年 王治本の旅と詩文交流 ―旅立ちから東海道を経て越前滞在まで―	柴田清継	一六八
武庫川女子大学 武庫川国文 八〇 (二〇一六・三)	明治二十六年 王治本の陸前・羽前等における足跡と文藝交流(下)	柴田清継	一七六
武庫川女子大学大学院 日本語日本文学論叢 一一 (二〇一六・二)	詩人于堅における詩とドキュメンタリー	佐藤賢	515
明海大学外国語学部論集 二九 (二〇一七・三)	中国近世戯曲小説中の異体字研究(八) ―元刊本・大都新編関目公孫汗衫記―	福満正博	521
明治大学教養論集 五〇八 (二〇一五・九)	中国近世戯曲小説中の異体字研究(九) ―『新刊巾箱蔡伯喈琵琶記』―	福満正博	527
明治大学経営学部 人文科学論集 六二 (二〇一六・三)	元刊本雜劇「汗衫記」は、何処に在ったのか ―併せて明抄本と元曲選本の性格を論じる(一)―	福満正博	534
明治大学人文科学研究所紀要 七九 (二〇一六・三)	中国安徽省池州市の詩讀系仮面演劇、貴池本「薛仁貴征東伝」について ―薛仁貴物語の変遷の研究(一)―	福満正博	*
”	元刊本雜劇「汗衫記」は、何処にあつたのか ―併せて明抄本と元曲選本の性格を論じる(二)―	福満正博	562
山口大学人文学部 異文化研究 一〇 (二〇一六・三)	中国語における「被〇〇」構文について ―認知言語学と対照言語学の視点から―	穆牛欣	583
立命館大学経済学会 立命館経済学 六四(四) (二〇一六・二)	夏丐尊と日本 ―宏文学院留学と小品文受容を中心に―	鳥谷まゆみ	590
”	中国語リスニング力の養成について ―中国語検定試験四級合格のための授業実践―	陳文礎	600
立命館大学国際言語文化研究所 立命館 言語文化研究 二六(四) (二〇一五・三)	从“认知”到“活用” ―关于复句对外汉语教学的探讨与研究―	张文青	613
”	“A十多了”与“A十得十多”	謝平	623
二七・一三 (二〇一六・二)	「文」字の民俗学的考察	張莉	一九三
立命館大学 立命館白川静記念東洋文字 文化研究所紀要 九 (二〇一六・二)	中国・台湾における白川文字字の受容	張莉	二〇五
龍谷大学 龍谷紀要 三八―二 (二〇一七・三)	中国における繁体字の氾濫 ―老舗商号を例として―	金子眞也	629
早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要 一八 (二〇一七・三)	周作人・安藤更生往来書簡(一)	徳泉さち	636

早稲田大学法学会 人文論集 五四 (二〇一六・二)	中国語運用能力向上を目的とした初・中級テキスト ト本文に関する一提言	大森 信徳	643
早稲田大学院文学研究科紀要 六一―二 (二〇一六・二)	近三十年『正字通』研究概況	古屋 昭弘	652
和洋女子大学日本文学・文化学会 和洋 國文研究 五一 (二〇一六・三)	魏晋南北朝隋唐詩小史	鳥羽田 重直	659

*・・・論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

第三分冊 (歴史・政治・経済Ⅰ) 上

愛知大学 愛大史学—日本史学・世界史学・地理学— 二六 (二〇一七・三)	乾隆朝、災害救済活動における官・吏・諸役の不法行為について	谷口 規矩雄	一
愛知大学 国際コミュニケーション学会 文明二二 三八 (二〇一七・三)	東亜同文書院生の台湾旅行にみる神社の位置付け	加納 寛	1
愛知大学 国際問題研究所紀要 一四九 (二〇一七・二)	俾代英をめぐる最近の研究動向について	砂山 幸雄	7
愛知学院大学 人間文化研究所紀要 人間文化 三二 (二〇一六・九)	中国国民政府の戦時政策とタイ・北米華僑—『戦争と華僑』第一巻の刊行を旨指して—	菊池 一隆	一〇
愛知学院大学 文学部紀要 四六 (二〇一七・三)	抗日戦争要求の拡大と西安事変	菊池 一隆	二〇
愛知学院大学 大学院 文研会紀要 二七 (二〇一六・三)	后妃のゆくえ —北齊・北周の後宮—	松下 憲一	三四
愛知江南短期大学 紀要 四五 (二〇一六・三)	上海における杜月笙と祖廟	水町 誠司	四三
アジア教育史学会 アジア教育史研究 二五 (二〇一六・三)	楚漢戦争の展開過程とその帰結(下)	柴田 昇	17
アジア経済研究所 アジア経済 五八— (二〇一七・三)	明治期漢文中国史書物の歴史叙述	黄 東蘭	五二
岩手大学 平泉文化研究センター年報 三 (二〇一五・二)	日清商品陳列所の実修機能 —向野堅一宛書簡に見る卒業生の苦闘—	向野 康江	六四
愛媛大学 法文学部論集 人文学科編 四〇 (二〇一六・二)	越境する歴史認識 —『満洲』の歴史教科書—	土屋 洋	七八
追手門学院大学 国際教養学部紀要 九 (二〇一六・一)	満洲国立開拓研究所の調査と研究	小都 晶子	29
桜美林大学 桜美林論考 人文研究 七 (二〇一六・三)	中国 古代都城の初期形態	許 留大 / 宏 / 輔 / 著	45
	中国先秦時代苑池史料集成(二) —東周篇—	劉 海宇	九二
	南宋臨安城の制度と特徴	唐 俊傑 / 松本 圭 / 太 / 訳	51
	南宋臨安への上供米制度の成立	高橋 弘臣	九六
	南宋の上供米制度運用の実態と臨安における米不足について	高橋 弘臣	一一二
	從《小學國語讀本》看二十年代文化啟蒙與「黨義」的內容特色 —以民國教育部審定的《新課程標準適用・小學國語讀本》(民國二十二年)為例—	李 慶國	57
	呉禄貞と日本(一) —呉禄貞に関する伝記史料をめぐって—	李 慶國	64
	甘肅・臨沢出土の西晋簡と孫氏一族 —臨沢出土西晋簡研究(一)—	町田 隆吉	75

桜美林大学大学院国際学研究所 国際学 研究 六 (二〇一六・三)	「唐咸亨四年(六七三)左漢舍告死者左懂憲書為左 懂憲家失銀錢事」をめぐって——左懂憲研究賞書 (三)——	町田隆吉	81
鷹陵史学会 鷹陵史学 四二 (二〇一六・九)	中国宋代の兵士と公共墓地	與座良一	二二四
〃	満洲国岫巖県興亜国民優級学校に於ける学校経営 史料	高野仁	二三〇
〃	ソヴィエト期の毛沢東の思想と行動に関する一考 察——五次「困剿」戦の再検討を通して——	土田秀明	86
〃	中国の特権階級と士大夫と近代的知識人	清水稔	二三九
〃	満洲国岫巖県興亜国民優級学校に於ける学校経営 史料(続)	高野仁	二四八
大阪大学大学院法学研究科 阪大法学 六五五 (二〇一六・一)	盧溝橋事件周年記念日に見る日中戦争像(二・完 ——戦時期における日本と中国を比較して——	鄒燦	二五七
大阪経済大学日本経済史研究所 経済史 研究 二〇 (二〇一七・一)	近代中国における工業教育と紡織技術者の養成	富澤芳亜	一七〇
大阪経済法科大学 東アジア研究 六六 (二〇一七・一)	『順天府檔案』に見える清代国家基礎権力の表現 ——宝坻県の官僚配置と社会組織の役割を例に——	伍躍	99
大阪府立大学紀要 人間科学 二二 (二〇一七・三)	乾隆四十七年彰化懸刺桐脚分類械闘案(上)	櫻井俊郎	107
大手前大学論集 一七 (二〇一七・三)	曹魏および西晋における都督と將軍	山口正晃	一九六
岡山大学文学部紀要 六三 (二〇一五・七)	日本軍の戦史記録と台兒庄敗北論	姜克實	117
岡山大学大学院文化科学研究科 文化共 生学研究 一五 (二〇一六・三)	明治・清末期、野崎家を訪問した中国の官紳 ——張謇と蔣麟——	土屋洋	126
〃	台兒庄の戦場における日本軍の装甲部隊	姜克實	137
お茶の水女子大学ジェンダー研究所年報 ジェンダー研究 二〇 (二〇一七・三)	秦代・漢初における(婚姻)について	佐々木満実	145
お茶の水女子大学比較日本学教育研究セ ンター研究年報 二二 (二〇一六・三)	朝鮮仁祖代における対明選擇儀礼の変容 ——明清交替期の朝鮮——	桑野栄治	153
香川大学経済論叢 八九・二 (二〇一六・九)	「満洲国」の都市における民族資本の戦時と戦後 ——奉天市の機械器具工業を中心に——	張曉紅	170
学習院大学人文科学研究所 人文 一四 (二〇一六・三)	「高宗諒陰二年不言」攷——障害学的視座による 再検証——	末森明夫	189
学習院大学東洋文化研究所 東洋文化研 究 一八 (二〇一六・三)	崗銀の没落——清末、雲南辺境における土司通行税 の変容	望月直人	二二四
学習院大学文学部 研究年報 六二 (二〇一六・三)	敦煌文書保存の一世紀	安江明夫	195
神奈川大学 人文学研究所報 五八 (二〇一七・九)	永安公司遊芸場「天韻楼」の閑鎖と上海市社会局	菊池敏夫	210
金沢大学経済論集 三三六・二 (二〇一六・三)	中華民国前期冀東地区豊潤県三ヶ村における農村 経済	弁納才一	217
金沢大学考古学紀要 三七 (二〇一五・一)	清朝の海禁政策と陶磁器貿易	野上建紀	232

金沢大学考古学紀要 三七 (二〇一五・一)	中国出土の竿頭飾新資料	高濱 秀	237
関西大学アジア文化研究センター ディ スカッションペーパー 一三三 (二〇一六・二)	唐代契丹人墓誌に関する一考察 —遼寧省朝陽市 博物館所蔵新出墓誌の紹介を兼ねて—	森部 豊	240
〃 一四 (二〇一六・三)	中国におけるソグド人墓の発見とソグド石棺牀の 復元	森部 豊	244
関西大学史学・地理学会 史泉 二四 (二〇一六・七)	清代河南除旗鎮と水運	松浦 章	二二九
〃 二二六 (二〇一七・七)	樂學至上、研究第一 —杜聰明が目指したもの—	朝治 啓三	248
関西大学文化交流学教育研究拠点 東ア ジア文化交流研究 九 (二〇一六・三)	漢代における軍費推算の資料と方法 —軍事費の 定量的把握のための覚書—	藤田 高夫	258
〃 一〇 (二〇一七・三)	「立法權」「行政權」「司法權」在日本和中國の表 達的演變歷程	谷口 知子	265
〃 〃	清末法部郎中韓兆蕃の『考察監獄記』について	孔 穎	276
関西大学法学論集 六六一— (二〇一六・七)	吳訥撰・若山拯訓読『祥刑要覽』の訳注(一)	佐立 治人	二二六
〃 六六一— (二〇一六・九)	天地の刑法は宜しく画一たるべし —旧中国の地 獄の罪刑法定主義—	佐立 治人	二四二
〃 六六一— (二〇一六・一)	元朝の立法・刑罰・裁判	佐立 治人	282
〃 六七二 (二〇一七・七)	吳訥撰・若山拯訓読『祥刑要覽』の訳注(三)	佐立 治人	二五三
〃 六七三 (二〇一七・九)	吳訥撰・若山拯訓読『祥刑要覽』の訳注(四)	佐立 治人	二五九
関東学院大学人文科学研究所 人文科学 研究所報 四〇 (二〇一七・一)	漢代黄河下流域の釣魚図と観魚図について	菅野 恵美	293
関東学院大学文学部 比較文化論集 八 (二〇一七・三)	『倭国伝』にみる日中交流の足蹟と課題	暴 囷 亜	304
木更津工業高等専門学校紀要 四九 (二〇一六・一)	官僚枝徳二 嘉南大圳組合管理者として	武長 女次郎	316
北九州市立大学大学院社会システム研究 科 社会システム研究 一四 (二〇一六・三)	張保阜の生涯と活動 人物像	金 鳳 珍	319
〃 〃	『錦江飯店』の女性創業者・薫竹君について	張 景 珊	330
九州大学韓国言語文化研究会 韓国言語 文化研究 二二 (二〇一六・一)	日本人と間島 —斎藤季治郎を中心に—	金 斑 実	341
〃 〃 二五 (二〇一七・一)	満洲・間島における日本人 —満洲語学者の渡部 薫太郎を中心に—	金 斑 実	349
九州大学東洋史論集 四四 (二〇一六・三)	遼と近隣諸国との公主降嫁による外交について	藤野 月子	二六七
九州大学大学院 言語文化論究 三六 (二〇一六・三)	資料調査…上海ユダヤ教区の普通選挙(一九四一 年六月)(下)	阿部 吉雄	358
〃 〃 三七 (二〇一六・一〇)	資料調査…上海ユダヤ教区の仲裁裁判所	阿部 吉雄	362
九州大学大学院 史淵 一五三 (二〇一六・三)	子孟津河渡司から沿海万戸府へ —ある水軍指揮官 の履歴からみたモンゴル帝国の水運と戦争—	松田 善之	366

九州産業大学 エコノミクス 二二・二二(二〇一六・一)	中華電信(CHT)の企業戦略 — 公営事業民営化の変遷過程 —	朝元 照雄	381
九州女子大学紀要 五三一 (二〇一六・九)	中国西周時代昭王期の青銅器考 — 書籍別断代比較を中心 —	古木 誠彦	403
京都大学経済学会 経済論叢 一九二— (二〇一七・三)	日本統治期台湾における市場社会の変容 — 工業化は如何にして生じたか —	堀内 義隆	412
京都大学大学院 社会システム研究 二〇(二〇一七・三)	領台初期におけるサトウキビの品種改良	大澤 篤	423
京都大学大学院人間・環境学研究科 シア史学論集 一〇(二〇一六・一)	梁啓超『李鴻章』の伝記史上の意義 — ヤング・ジョン・アレン(林榮知)・蔡爾康著『中東戦紀本末』の影響からの考察	森岡 優紀	433
〃	顧命の臣 — 西周、成康の際 —	松井 嘉徳	442
〃	唐代後半の北辺経済再考	丸橋 充拓	453
京都大学大学院人間・環境学研究科 史文化社会論講座紀要 一三 (二〇一六・一)	ヴラジスラヴィツチ著『清朝の実力と現状に関する秘密報告』第一章訳稿	松浦 村茂 中末 朋美 薛 末子	463
共立女子大学 共立国際研究 三三 (二〇一六・三)	墓誌から見た中国北朝時代の民族融合 — 司馬金龍家族墓誌を手がかりとして —	張 学鋒	473
近代東西言語文化接触研究会 或問 二九(二〇一六・六)	常州觀莊趙氏の歴史にみる清代社会の一断面(五四運動と日清汽船会社)	浅沼 かおり	479
〃	日治時代台湾烏龍茶の海外輸出と汽船	松浦 章	487
〃	冲击 — 回应的社会史阐释 — 「重读魏斐德《大日口的陌生人》」	李 雪涛	505
〃	『実学報』における日本の新聞記事の翻訳について — 『中外商業新報』掲載「廣東金礦の發見」を例に	陳 静静	515
釧路公立大学紀要 社会科学研究 二九 (二〇一七・三)	上海精油所の謎 一九四五—一九四九年 — はたして建設されたのか? —	萩原 充	524
熊本大学教育学部紀要 六五 (二〇一六・一)	方觀承撰『燕香二集』上について(上)	黨 武彦	533
熊本学園大学 海外事情研究 四三二— (二〇一六・三)	日本統治時代の台湾生活誌(X)	柴 公也	537
慶應義塾大学法学研究会 法学研究 八九三(二〇一六・三)	一九四〇年代における中国三峡ダム開発 — 国民政府の国家建設と米中経済・技術協力 —	林 秀光	二八四
皇學館大學史學會 皇學館史學 三二 (二〇一六・三)	北魏孝文帝の「漢化政策」とその支持者について	堀内 淳一	二九八

第三分冊（歴史・政治・経済Ⅰ）下

國學院大學大学院史学専攻大学院会 史学研究集録 四一（二〇一七・三）	注釈『入唐求法巡礼行記』卷三 開成五年（八四〇）七月二十六日～八月十三日条	伏見和也 三輪仁美 柳田甫	一
国際基督教大学アジア文化研究所 アジア文化研究 四二（二〇一六・三）	太平天国西征軍の湖北進出と廬州攻略	菊池秀明	1
〃 四三（二〇一七・三）	太平天国と湘軍の湖南岳州、湖北武昌と田家鎮をめぐる攻防戦	菊池秀明	16
国士館大学東洋史学会 国士館東洋史学 七・八・九（二〇一六・二）	『帝王略論』巻四と南朝史書	会田大輔	一四
〃	明清時代の江西商人と社会秩序について	小川快之	二六
国士館大学文学部人文学会 国士館人文科学 七（二〇一七・二）	『御製人臣傲心録』——「好名論・」營私論・「狗利論」——	石橋崇雄	31
古代学協会 古代文化 六八・四（二〇一七・三）	楚系青銅戈戟の編年	山本 堯	41
〃 六九・一（二〇一七・六）	范曄『後漢書』の人物評価と後漢中後期の政治過程	渡邊将智	50
駒澤大学法学部 駒澤法学 一六・一（二〇一六・二）	国際法における近代中国の成立——その領域観念の歴史の変遷を中心に——（二）	王志安	60
埼玉大学紀要 教養学部 五二・二（二〇一六・三）	原三国時代前期辰韓の鉄器と対外交渉	坂野和信 坂野千登勢	75
〃 五二・一（二〇一六・九）	鉄器と紡錘車からみた原三国時代前期辰韓・弁韓社会	坂野和信 坂野千登勢	85
〃 五二・二（二〇一七・三）	原三国時代前期終末における辰韓・弁韓の鉄器と度量衡	坂野和信 坂野千登勢	96
札幌大学総合論叢 四四（二〇一七・一〇）	リットン調査団と満洲国建国記念連合大運動会——関東軍による宣伝・宣撫工作としてのスポーツ——	金 誠	104
史学研究会 史林 九九・三（二〇一六・五）	嘉靖六年年末の内殿儀礼改定——中国明代における専制君主と政策決定の正当性——	岩本真利絵	三七
〃 一〇〇・一（二〇一七・二）	清末西江の「海賊」——「緝捕権」問題と貿易・航運	村上 衛	五三
〃 一〇〇・三（二〇一七・五）	清代外モンゴルのセチエン・ハン部における盟界画定の経緯——牧地紛争に関する公文書を手掛かりに——	朝魯孟格日勒	七〇
〃 一〇〇・六（二〇一七・二）	崇徳元年（一六三六）の外藩蒙古会盟と丙子胡乱	丘凡眞 李在眞 李玄 金玄	八五
四天王寺大学紀要 六一（二〇一六・三）	康有儀の山本意に宛てた書簡（訳注・その四）	呂順長 小野泰教	116
史訪会 東洋史訪 一三三（二〇一六・三）	冊封使と琉球——徐葆光を主に通して	黄麗雲	125
〃	『革命評論』第一期にみる施存統の主張	新地比呂志	131

史訪会 東洋史訪 二四 (二〇一七・三)	『周仏海日記』に見る南京汪精衛政権前史の考察 — 盧溝橋事件とトラウトマン調停破綻 —	新地 比呂志	135
〃	台湾と海洋文化の絆 — 交易について	黄 麗雲	142
島根県立大学 北東アジア研究 別冊三 (二〇一七・九)	モンゴル・「中国」の接壤地帯としての二二—二四世紀華北 — モンゴル帝国の統治と華北社会の変容 —	飯山 知保	146
〃	大清国による歴史記述のモンゴル史的文脈	岡 洋樹	151
社会経済史学会 社会経済史学 八一—四 (二〇一六・二)	二〇世紀初頭の中国通貨システムの変容 — 銀元鑄造および銀元流通の検討を中心に —	蕭 文嫻	159
上智大学史学会 上智史学 六一 (二〇一七・一一)	商人たちの告訴状 — 明代日用類書の事例から	大澤 正昭	九九
〃	『補農書』(含『沈氏農書』)試釈 — 現地調査を踏まえて — (一)	大澤 正昭	一〇八
〃	福建南部・内陸部歴史調査報告 — 『清明集』的世界の地理的環境と文化的背景 (漳州・順昌篇)	佐々木 信一 愛	二二六
昭和女子大学国際文化研究所紀要 二二 (二〇一六・三)	内モンゴルから見たハルハ・モンゴル — 『ムクデニー・モンゴル・セトグルル(奉天蒙文報)』をよんで —	戸田 裕司	170
駿河台大学比較法研究所紀要 比較法文化 二二 (二〇一六・三)	延安時期の雑誌『解放』総目録と解題 (一)	井上 久士	176
成蹊大学法学会 成蹊法学 八四 (二〇一六・六)	近代中国における子ども観の社会史的考察 (四) 戦火のなかの子ども観 — 救済と組織化	湯山 トミ子	185
政治経済史学会 政治経済史学 六〇—八 (二〇一七・八)	中国立憲君主政国家構想 — 制限された皇帝権と三権分立体制 —	小西 豊治	二三七
成城大学経済研究 二二六 (二〇一七・三)	あるアメリカ人経済学者と近代中国の出会い — 若き日のC.F.リーマー —	林 幸司	199
成城大学社会イノベーション研究 二二— (二〇一七・二)	中国の経済学者 馬寅初(マー・インチュ) 一八 八二—一九八二) について	福光 寛	211
清泉女子大学人文科学研究所 清泉文苑 三三 (二〇一六・三)	中国史における皇帝権力	藤本 猛	二四七
専修大学歴史学会 専修史学 六〇 (二〇一六・三)	戦後日本における中国古代国家史研究をめぐる — 関東大震災時の中国人虐殺資料を読む(二) — 中央研究院近代史研究所所蔵『日本震災惨殺華僑案』第四冊 —	飯尾 秀幸	二四九
〃 六一 (二〇一六・二)	ト辞出現の歴史的経緯について	小笠原 英一	二五八
千里金蘭大学紀要 一三 (二〇一七・二)	『陔餘叢考』訓譯卷十二之中	末次 信行	224
大東文化大學漢學會誌 五五 (二〇一六・三)		大兼 健寛	一八七
		關新主 清孝美	
		田中 良明	

大東文化大學大学院アジア地域研究科
大東アジア学論集 一七 (二〇一七・三)

中国四川省の松潘擲撃をめぐる一考察

内田 知行 227

拓殖大学海外事情研究所 海外事情
六五・九 (二〇一七・九)

歴史から見る中国の行動様式

岡本 隆司 二二七

筑紫女学院大学 研究紀要 一二
(二〇一七・一)

壬子学制における中国師範教育の転換

崔 淑芬 242

中央大学人文科学研究所 人文研究紀要
八二 (二〇一五・一〇)

実録と檔案の間 ―明代万曆初期の事例から―

荷見 守義 二三四

” 八五 (二〇一六・九)

明代都司掌印官の基礎的考察 ―遼東都司の場合―

荷見 守義 二三九

” 八八 (二〇一七・九)

馬昂と陳汝言 ―明代天順期の二人の兵部尚書をめぐって―

川越 泰博 二五七

”

隋末唐初における李義方とその一族 ―墓誌銘の分析を中心に―

前島 佳孝 二七三

中央大学政策文化総合研究所年報 二〇
(二〇一七・八)

八角三郎と中国海軍再建論

馮 青 249

中央大学文学部紀要 史学 六一
(二〇一七・三)

漢初の天下秩序に関する一考察

阿部 幸信 二八九

”

生前の空間、死後の世界 ―隋唐長安の官人居住地と埋葬地―

妹尾 達彦 三〇五

中京大学文化科学研究所 文化科学研究
二八 (二〇一七・三)

古代中国にUFOは飛来していたか?(其五)
―古典文献の基本的な使い方からの考察―

明木 茂夫 三三八

筑波大学社会学研究室 社会学ジャーナル 四一 (二〇一六・三)

近代中国における社会調査の実践と困難
―李景漢の社会調査論と中国農村社会―

槐山 新 258

筑波大学大学院人文社会科学研究所 歴史人類 四四 (二〇一六・三)

清代雍正初頭における西北・西南諸省の開鑄論議

上田 裕之 270

東京大学出版会 UP 四六一〇
(二〇一七・一〇)

台湾で発見された植民地期のプロバガンダ・フィルム

三澤 真美恵 三四八

東京大学大学院人文社会系研究科 韓国朝鮮文化研究 一五 (二〇一六・三)

清の游智開と朝鮮の朝貢使節 ―領選使の派遣を中心に―

崔 蘭英 三五二

東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻紀要 国際社会科学 六五
(二〇一六・三)

日中戦争と華僑送金 ―「傀儡」政権の存在意義

川島 真 278

東京学芸大学国語国文学会 学芸国語国文学 四八 (二〇一六・三)

北魏時代の巡行碑に関する覚え書き

徳泉 さち 三六一

東京女子大学史学研究室 史論 六九
(二〇一六・三)

日本統治下の台湾

栗原 純 三六六

”

台湾総督府阿片政策の「踏襲」と「転換」について
―阿片令の改正と新特許問題―

栗原 純 三七二

東京女子大学史学研究室 史論 六九 (二〇一六・三)	戦後内戦期における国民政府の減租政策と基層社 会 ― 四川省を中心に ―	天野 祐子 四〇二
東京理科大学紀要 教養篇 四八 (二〇一六・三)	中国黒龍江省M市朝鮮族へのインタビュー記録 ― 一九四〇～一九七〇年代を中心に ―	李 海燕 284
同志社大学文化学会 文化学年報 六六 (二〇一七・三)	沈惟敬再論	城地 孝 四一四
東北大学 東洋史論集 一一 (二〇一六・三)	魏晋南朝の従事中郎について	石井 仁 四二六
〃	張建章墓誌と『渤海国記』に関する若干の問題	古畑 徹 四四二
〃	宋代士大夫家族の秩序と構造 ― 范氏十六房の形 成 ―	遠藤 隆俊 四五四
〃	司馬光傳承數則 ― 明清「編年」書六種における	熊本 崇 四六六
〃	宋代地誌序跋文考(三) ― 寶慶『四明志』・開慶 『四明續志』小考 ―	須江 隆 四八三
〃	洪武の都、南京城の景勝(二) ― 『洪武京城図志』 の解説作業 ―	新宮 学 四九八
〃	満洲国統治機構・官僚制度と執政府の形成	山田 勝芳 五二五
東北学院大学アジア流域文化研究所 日 中韓周縁域の宗教文化 三 (二〇一七・三)	尚可喜・尚氏一族の旗地所有	細谷 良夫 296
東洋大学アジア文化研究所 研究年報 五〇(二〇一六・二)	歴史的に見た台湾と日本の家族に関する法現象の 共通性と文化的異質性 ― 一夫一妻多婦制度を例 として ―	後藤 武秀 316
東洋大学文学部紀要 六九 史学科篇 四一(二〇一六・二)	中華民国元年五月における川漢鐵路公司株主会の 国有化決議 ― 保路運動後の四川鉄道国有化問題 に関する新史料の紹介と分析	千葉 正史 五二八

(59-3下)

第三分冊 (歴史・政治・経済Ⅰ) 増刊

徳島大学総合科学部人間社会文化研究 二四 (二〇一六・一一)	嘉慶年間中国本土の郷村役・南満洲地域との比較	荒武達朗	1
長崎県立大学東アジア研究所 東アジア 評論 八 (二〇一六・三)	台湾米の移出管理政策とその影響	堤和幸	26
名古屋大学東洋史研究報告 四〇 (二〇一六・三)	清代咸豊以前の滇黔辺岸における川塩の運銷制度 について	謝祺	一
名古屋市立大学大学院人間文化研究科 人間文化研究 二八 (二〇一七・七)	嘉義農林学校学生の戦争体験	小野純子	35
南山大学 アカデミア 社会科学編 一一 (二〇一六・六)	近代中国の学校管理法教科書に関する一考察 — 謝冰・易克泉訳『学校管理法要義』を手がかり に—	宮原佳昭	42
新潟国際情報大学国際学部紀要 一 (二〇一六・四)	日中戦争期華北の日本居留民 — 居留民組織・団 体と徴兵検査を中心に—	小林元裕	54
日本大学経済学部 研究紀要「一般教育 ・外国語・保健体育」八三 (二〇一七・二)	春秋中期の政治史(晋悼公—晋平公)	岩間秀幸	61
日本大学国際関係学部 国際関係研究 三七 (二〇一六・一〇)	宮崎滔天の長子宮崎龍介の中国認識 — その孫文 観を中心に—	井上桂子	70
日本モンゴル学会紀要 四七 (二〇一七・三)	「清代モンゴルの『公盟に下した命令書』 (<i>čiyūhan-du beryūlysan jalyr-un bičig</i>) — 作成の経緯を中心に—	王長青	74
人間環境大学 人間と環境 七 (二〇一六・一一)	明代の教育制度(一)	河住玄	一九
沼津工業高等専門学校研究報告 五〇 (二〇一六・一)	「唐・翟天德墓誌」の訳注と考察	渡昌／補訂 弘著	81
東大阪大学 ASIA 社会・経済・文化 三 (二〇一七・三)	上海に対する近代日本人の認識の変遷 (一八六二 — 一九一二年)	山下陽一郎	81
弘前大学 人文社会科学論叢 一 (二〇一六・八)	孫承宗と明朝檔案	徐静波	二八
広島史学研究会 史學研究 二九五 (二〇一七・三)	儲安平の民主思想 — 『觀察』時期と共和国初期 の関係について—	荷見守義	三五
〃 二九六 (二〇一七・六)	戦後国共内戦期・中国共産党根拠地の大衆動員と 社会 — 冀魯豫区根拠地を中心に—	林礼釗	四三
〃	南京国民政府時期中国における合作社の展開と農 村社会の特質 — 江蘇省丹陽県・無錫県を例とし て—	丸田孝志	五七
福井県立大学経済経営研究 三六 (二〇一七・三)	「井岡山土地法」の成立過程に関する研究(上)	弁納才一	85
福岡大学研究部論集 F 推奨研究編 二 (二〇一五・三)	中国における「地域」概念検討	陳海東	97
佛教大学 社会学部論集 六一 (二〇一五・九)	著名社会学者徐本文の二つの社会学観の通底性 について — 民国期から新中国成立期まで—	山根直和 田村和彦	107
		星明	112

佛教大学 社会学部論集 六一 (二〇一六・三)	中国の社会学	孫 本 星 明	121
佛教大学 文学部論集 九九 (二〇一五・三)	帝 国 共和…(清皇から大聖皇へ) ―「袁世凱加筆民国憲法草案」について	李 冬 佐 海 田 山 富 夫	129
佛教大学 歴史学部論集 六 (二〇一六・三)	宋代の保甲法と都保制に関する一試論	與 座 良 一	140
” 七 (二〇一七・三)	宋朝の朝貢と貿易	山 崎 寛 士	七 一
平安女学院大学研究年報 一七 (二〇一七・三)	日本統治下台湾人児童の日常生活について ―国語教科書を手掛かりに―	陳 虹 彪	152
法政大学史学会 法政史学 八八 (二〇一七・九)	隋唐洛陽城“洛水貫都”考	宇 都 宮 美 生	八 一
北海道大学東洋史談話会 史朋 四九 (二〇一六・二)	『貞観氏族志』における皇族の等級	川 合 安	九 二
”	江南の土地改革と地主(下)	夏 井 春 喜	一〇〇
北海道教育大学 釧路論集 四八 (二〇一六・二)	芝山巖の現状 ―日台関係史の解釈をめぐって 二二―	竹 内 康 浩	156
三重大学法経論叢 三三三― (二〇一五・二)	「第一次世界大戦後の山東問題とイギリス・ワシントン会議期を中心に(一)」	古 瀬 啓 之	162
明治大学史学地理学会 駿台史学 一五八 (二〇一六・九)	唐代の高句麗移民「高乙徳墓誌」および関連する問題	王 連 山 智 智 史 龍 著	169
明治大学東洋史談話会 明大アジア史論 集 二〇 (二〇一六・二)	「一個女子中学の課外生活」にみる日中戦争直前の中国女子中学生	高 田 幸 男	177
” 二二 (二〇一七・三)	『皇元大科三場文選』 「策」校注	石 山 櫻 井 田 智 本 成 森 基 創	二 二
明治大学法律研究所 法律論叢 八九― (二〇一六・七)	唐代の平闕式についての一考察(下) ―「唐大宝職官表」の検討を通して―	岡 野 誠	二 〇
九〇―三三 (二〇一七・二)	医 疾 令 の 本 草	夏 井 高 人	179
明治学院大学文学会 人間の発達と教育 二二 (二〇一六・三)	中華民国北京政府後期における教育立法の研究	世 良 正 浩	206
山口大学アジア歴史・文化研究会 アジ アの歴史と文化 一九 (二〇一五・三)	汉代“大石” “小石”新探	馬 彪	224
山梨学院大学法学論集 七七 (二〇一六・二)	中国人労働者と富士山 ―陸軍富士飛行場の建設 をめぐって―	松 本 武 彦	229
立正大学考古学会 考古学論究 一七 (二〇一六・二)	中国浙江省寧波沿海地域の古代海上交通	辻 尾 榮 市	二 五〇
立正大学史学会 立正史学 一二二 (二〇一七・三)	唐代後半期における勳官	田 中 則 行	二 五 五
立正大学 地球環境研究 一九 (二〇一七・三)	台湾彰化県鹿港鎮における市街地の拡大について	松 井 秀 郎	241

立命館大学経営学会 立命館経営学 五五・五 (二〇一七・一)	中国・延辺朝鮮族自治州紀行―歴史と現在	鄭 雅英	245
立命館大学社会システム研究所 社会システム研究 三三 (二〇一六・九)	日本統治下台湾の沖縄出身者がみた“新高港”の夢―宮崎禎治オーラルヒストリー―	菅野 敦志	254
立命館大学人文学会 立命館文學 六四七 (二〇一六・三)	西周代伯仲叔季孟考	谷 秀樹	270
立命館大學 立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要 九 (二〇一六・一)	西周時代における天の思想と天子概念―殷周革命論ノート(三)上―	高島 敏夫	一六七
琉球大学教育学部紀要 八八 (二〇一六・一)	清代における江西省東部広信府の人口について	前村 佳幸	280
琉球大学法文学部人間科学科紀要 人間科学 三三三 (二〇一五・九)	北魏孝文帝代の尚書省と洛陽遷都(五)―宗室元氏の尚書省官への任官状況に焦点を当てて―	長部 悦弘	286
龍谷大学国際社会文化研究所紀要 一九 (二〇一七・六)	北魏孝文帝代の尚書省と洛陽遷都(六)―宗室元氏の尚書省官への任官状況に焦点を当てて―	長部 悦弘	296
龍谷大学東洋史学研究会 東洋史苑 八六・八七 (二〇一六・二)	山東境内北朝時期的丈八佛	徐 光輝	310
〃	先秦都市社会の形成(続)―新石器時代―	江村 治樹	一七五
〃	北朝国境地域における造像事業と人々―汝水上(中流域)の状況について―	北村 一仁	二二一
〃	鄭和艦隊と諸武力紛争事件	富尾 武弘	二四〇
〃	『北周地理志』索引 五十音・ピンイン検字表	藤島 武岬	321
歴史学会 史潮 七七 (二〇一五・六)	台湾原住民の伝統生活と高砂義勇隊―台湾北部タイヤル族を中心に―	北村 一拓 池村 翔平	二五三
〃	日本占領下上海文化の「グレーゾーン」をどう考えるか	菊池 一隆	二五三
〃	戦国後期の秦の内政干渉策	鈴木 将久	二六三
〃	ふたつの授業ポイコットからみた東亜同文書院の学校運営の問題(一九二〇～一九三〇年)	鈴木 将久	二六三
歴史人類学会 史境 七一 (二〇一六・三)	近代中国における「陋俗」改革とその言説―湖女問題を素材にして―	佐々木 研太	二七三
〃	雍正帝の后妃とその一族	広中 一成	二八三
〃	乾隆帝の時代の終わりと清朝の変容―清朝・チベット関係をを中心に―	山本 英史	二九四
〃	「満洲国」以前の瀋陽故宮と古物陳列所―瀋陽故宮文物の「運京」を中心に―	鈴木 真	三〇三
和歌山大学経済学部 経済理論 三七五 (二〇一四・三)	清初広東潮州府平遠県における武官殺害事件について	村上 信明	三三四
〃	順治二年(一六四五)の蘇州(一)	大出 尚子	三三五
〃	順治二年(一六四五)の蘇州(二)	甘利 弘樹	三三四
〃	滝野邦雄	滝野 邦雄	328
〃	滝野邦雄	滝野 邦雄	338

和歌山大学経済学部 経済理論 三八二 (二〇一五・一二)	清初における楊廷樞について	滝野 邦雄	351
〃 〃 三八四 (二〇一六・六)	明・景泰帝の諡号「戾」について	滝野 邦雄	365
〃 〃 三八五 (二〇一六・九)	北来太子案を通して見た福王弘光帝について(二)	滝野 邦雄	376
早稲田大学史学会 史観 一七六 (二〇一七・三)	巴仁「状」文書の機能的分類と書式分析 — 巴珍 文書・敦煌文献との比較を通じて —	齊 会 君	三四三
〃 〃 一七七 (二〇一七・九)	三國呉の孫権による対外政策についての考察 — 馬匹獲得戦略を中心に —	伊藤 光成	三五三
早稲田大学地域・地域間研究機構 次世 代論集 一 (二〇一六・三)	『李文忠公事略』の出版と呉汝綸	白 春岩	389
早稲田大学東洋史懇話会 史滴 三八 (二〇一六・一二)	清華簡「繫年」第八章覚書	工藤 元男	三六三
〃 〃 三九 (二〇一七・一二)	金朝における上京會寧府から中都大興府への遷都 と都城空間の變化	久保田 和男	三七二
〃 〃 〃 〃	前燕国家体制考 — 慕容儁称帝以後を中心として	小野 響	三八三
〃 〃 〃 〃	唐の南走派ウイグル対策について — 朝廷と辺境の 思惑の差違 —	齊 会 君	三九五
〃 〃 〃 〃	西安碑林博物館蔵「鐔地直侍墓誌」(唐・開元一 一年)	林 美 希 齊 藤 茂 雄	四一〇
早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 論集 三三三 (二〇一七・三)	西安事変を契機とした国論の統一	下田 貴美子	397
早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別 一六 (二〇一六・三)	Muslims in Japan and China during the Second Sino-Japanese War	Atsuko SHIMBO	407
早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別 冊 二四二 (二〇一七・三)	中国人日本留學生の政治運動一九二二—一九三七	郭 瑋	412
早稲田大学大学院文学研究科紀要 六二 (二〇一七・三)	日本統治時代台湾の動物慰霊碑 — 畜魂碑・猷魂 碑を中心に —	真 辺 将 之	四一九

(59-3増)

第四分冊 (歴史・政治・経済Ⅱ) 上

愛知大学経営総合科学研究所 経営総合科学 一〇五 (二〇一六・二)	鎮江市西津渡における観光開発に関する一考察	張	慧娟	1
愛知大学 言語と文化 三六 (二〇一七・二)	关于中国人的血缘关系交际(下) —— 中国交际文化谈(二)	張	筱平	8
愛知大学 国際問題研究所紀要 一四九 (二〇一七・二)	内モンゴルの民族活動における「拨乱反正」の検討	仁	欽	19
〃 一五〇 (二〇一七・二〇)	その後のタンザン鉄道 —— 中国の関与を中心として	村	上 享二	32
愛知学院大学政策科学研究所報 政策科学 八 (二〇一七・三)	台湾の民主化が家族生活に与えた影響 —— 張金生ご夫妻へのインタビュー記録に基づく考察	岩	田 和男	44
〃	愛河保全運動と民主意識とジェンダー —— 台湾高雄市・市民活動家許玲齡氏へのインタビュー記録	岩	田 和男	51
愛知学院大学論叢経営学研究 二五二・四 (二〇一六・三)	中国乗用車産業の戦略グループ分析(六) —— 比亚迪汽車のブランド戦略	北	洞 忠宏	55
愛知学院大学大学院経営学研究科 経研会紀要 一八 (二〇一六・三)	中国におけるサービス・イノベーションの現状と課題 —— コンビニエンスストアを事例として	巩	大 維	66
愛知学院大学大学院 文研会紀要 二七 (二〇一六・三)	一九六〇年代から七〇年代までの台湾観光事業と華僑との関連	吳	米 淑	75
青山学院大学国際政治経済学会 青山国際政経論集 九七 (二〇一六・二)	中国の対米脅威認識におけるパワーの変動と国内政治体制の要因・米中間でのパワー・トランジションへの含意	山	崎 周	83
青山学院大学法学会 青山法学論集 五七・四 (二〇一六・三)	中華人民共和国証券投資基金法(二〇一五年改正)	楊	林 凱	93
アジア経済研究所 アジア経済 五八・三 (二〇一七・九)	第一次台湾海峡危機をめぐる大陸沿岸諸島の防衛問題の変遷 —— 「蔣介石日記」および台湾側一次史料による分析	松	本 はる香	119
〃 五八・四 (二〇一七・二)	台湾電子産業における電子部品部門への傾斜 —— 大立光電と聯詠科技のケーススタディからみた過程と要因	佐	藤 幸人	133
アジア経済研究所 アジア動向年報 二〇一七 (二〇一七・五)	二〇一六年の中国 習近平を党中央の「核心」として集権化が進む	松	本 はる香	147
〃	二〇一六年の台湾 蔡英文政権の誕生と違い「移行期正義」	竹	内 孝之	164
アジア経済研究所 アジ研ワールド・トレンド 二五六 (二〇一七・二)	普遍的価値をめぐる中国の葛藤	江	藤 名保子	179
亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科 AIBSジャーナル 九 (二〇一六・三)	「中国の貧困削減・扶貧」政策に関する一考察	張	建	184
岩手大学 平泉文化研究センター年報 四 (二〇一六・三)	世界遺産西湖…景観保護の課題と遺産影響評価	黄	圭 斌	188
宇都宮大学教育学部教育実践紀要 二 (二〇一六・八)	中国の高校に向けた消費者教育の提案	孫	本 圭	205
大分大学経済論集 六六・五 (二〇一五・二)	経済言語学の視点からみる言語景観 —— アメリカのチャイナタウンと日本の中華街の比較	赤	塚 朋子	209
		包	聯 群	

大阪経済大学中小企業・経営研究所 経営経済 五二 (二〇一七・一)	国際競争下における金型産業の現状と課題 — 北部九州と中国浙江省台州市を事例に —	山本俊一郎	225
大阪経済法科大学「二世紀社会総合研究センター」紀要 七 (二〇一六・三)	中国の家庭内暴力防止法草案に対する考察	呉紅敏	235
大阪経済法科大学 東アジア研究 六五 (二〇一六・三)	中国農村過疎化に関する論点と課題	堀口 瑾正	239
〃 六七 (二〇一七・三)	「牛棚」の記憶を残すために — 『流水何曾洗是非 — 北大「牛棚」一角』著者インタビュー —	姜若冰	249
大阪樟蔭女子大学研究紀要 六 (二〇一六・一)	中国の責任保険市場の特徴と課題 — 責任保険の 社会経済的機能に着目しながら —	神田 恵未	253
大阪商業大学比較地域研究所 地域と社会 一八 (二〇一六・二)	中国における統治と「反腐敗運動」 — 民衆との 関係性において —	山本 恒人	258
〃	中国の中古車流通が抱える問題点に関する一考察 — 機能的と制度的アプローチから —	孫 飛舟	263
大阪商業大学論集 一一三 (二〇一六・一)	外資系小売業の中国進出に関する一考察 — 日系大手スーパーの事例を中心に —	于 文蕾	269
大阪市立大学経営学大会 経営研究 六八・二 (二〇一七・八)	中国の株式市場におけるバリュート投資の有効性	翟 林 星 閻 石 瑜	277
大阪市立大学法学会 法学雑誌 六二・三・四 (二〇一六・八)	〈翻訳〉中国民法典草案建議稿…総則編(一) (中国 民法典立法研究課題グループ、二〇一二年)	王 晨 ／ 訳	283
大谷大学文学藝文会 文藝論叢 八六 (二〇一六・三)	東北師範大学日本研究叢書からみる日本問題の最新研究 — 『偽満歴史文化与現代中日関係』(上・下)を中心に —	李 青	296
沖縄国際大学産業情報学部 産業情報論集 一一二・二 (二〇一六・三)	中国浙江省における国際的商業集積の展開	佐久本 朝一	299
嘉悦大学研究論集 六〇・一 (二〇一七・二)	中国における新興地方自動車メーカーの急成長 — 産業政策との関連を中心に(その一) —	劉 暢 許 羽	313
香川大学経済論叢 九〇・二 (二〇一七・九)	FDIと経済増長及产业结构升级の因果关系研究 — 以「丝路桥头堡」陕西省为对象的计量分析	姚 業 艳 伍 峰	323
学習院大学国際研究教育機構研究年報 一 (二〇一五・一)	華北農村調査の記録 — 二〇一四年八月、山西省 L県G村の聞き取り記録 —	河野 野 正 前野 清 平 佐藤 淳 平	335
学習院大学 法学会雑誌 五二・一 (二〇一六・九)	現代中国の東南アジア政策と戦国時代の秦	村主 道美	341
鹿児島大学大学院 地域政策科学研究 一四 (二〇一七・三)	中国における生活関連製造業の地域間立地構造と 全要素生産性の変化	張 秋 菊	352
鹿児島国際大学 国際文化学部論集 一八・三 (二〇一七・二)	上海の港湾施設空間の近代と再開発	森 勝 彦	368
神奈川大学経済学会 商経論叢 五二・二 (二〇一六・一)	中国における社会主義経済の建設と社会主義像 — 一九四九〜七八年 —	鈴木 義嗣	392
金沢大学経済論集 三六・一 (二〇一六・三)	華北農村訪問調査報告(二) — 二〇一五年九月、 河北省・山西省の農村 —	弁 納 才 一	404
金沢大学大学院人間社会環境研究科 人間社会環境研究 三三 (二〇一七・三)	現代中国における障害者観 — 障害当事者と非当 事者の聞き取り調査から —	杜 林	417
関西国際大学 研究紀要 一八 (二〇一七・三)	日・中・シンガポールの職業会計人育成制度の比較研究	河内山 潔 浮田 泉 威	425

関西学院大学商学研究会 商学論究 六三・三(二〇一六・三)	中国における公正・公允・価値概念の整理 ―「企業会計基準第三九号：公正価値測定」を中 心に―	王 昱	431
関西学院大学総合政策学部研究会 総合 政策研究 五二(二〇一六・九)	中国外交政策研究への理論的アプローチ	井 上一郎	440
関東学院大学人間環境研究所所報 一五 (二〇一七・二)	中国と日本の若者における環境意識の調査研究	佐 野慶一郎	449
環日本海経済研究所 ERINA REPORT PLUS 136 (1017・7)	中国の京津冀一体化産業イノベーションの現状及 び展望	李 媛 共同研究者	451
〃	中国における環境経済政策の現状と政策評価	李 媛 松林	455
〃	構造型多変量自己回帰モデルによる物価変動の要 因分解に関する研究 ―黒龍江省の産業別物価に 対する財政政策効果の考察―	南 川高範	460
〃	東北地域と「一带一路」建設との結びつきの現状 と展望	謝 東志	465
〃	遼寧省における対日経済貿易協力の新しい展開 ―遼寧自由貿易試験区を中心として―	秦 兵	471
〃	日本から見た東北経済と日中協力	松 野周治	476
北九州市立大学外国語学部紀要 一四五 (二〇一七・三)	泉州・平潭における閩台関係の一考察	下 野寿子	480
九州大学 韓国経済研究 一四 (二〇一七・三)	中韓FTAと中日韓FTAの日本の対外輸出への 影響	深 川博丹	495
九州大学大学院人間環境学研究院 国際 教育文化研究 一六(二〇一六・九)	Analysis of the Necessity and Feasibility of FTA among Japan, China and Korea: Based on Agricultural Products Trade	WANG Hanwen FUKAGAWA Hiroshi	501
〃	客家土楼における地域・居住環境の変容 ―世界遺産登録と人口流動を中心に―	劉 元一秀	514
〃	新中国初期における中国共産党の党員教育制度の 構築について	坂 元光	521
〃	中国都市部における家族のケアの資格化 ―上海市の「家政サービス員」の養成を中心に―	翁 文静	553
九州産業大学 エコノミクス 二二・三 (二〇一七・二)	台湾プラスチック・グループ(FPG)の成長戦略 ―世界第七位の石油化学グループの垂直統合と多 角化経営―	朝 元照雄	560
共愛学園前橋国際大学論集 一七 (二〇一七・三)	中国のアフリカ政策 FOCACの役割を中心と して	謝 志海	592
京都大学経済学会 経済論叢 一九二・二 (二〇一七・四)	中国環境行財政システムと政策執行へのインパク ト	金 紅実	599
京都大学地域研究統合情報センター 地 域研究 一六二(二〇一六・三)	中国とアフリカ ―中国の対アフリカ政策と経済 進出	尹 曼琳	一
京都大学法学会 法學論叢 一八〇一 (二〇一六・一〇)	中国契約法における売主の瑕疵担保責任(二)	夏 静宜	二二
京都産業大学法学会 産大法学 五〇一・二(二〇一七・一)	日中関係の分析枠組	滝 田豪	608

京都女子大学 現代社会研究 一九 (二〇一六・一二)	中国・国有企業の過剰生産力と激増する債務 性――世界経済への影響と金融システムの「持続可能性」――	鳥谷 一生	619
京都府立大学公共政策学部福祉社会研究会 福祉社会研究 一六 (二〇一六・三)	中国農村教員に対する給与制度の現状と問題点 ――陝西省の農村小学校における実態調査から――	孫 群 姍	626
近畿大学短大論集 四九一― (二〇一六・一二)	中国の流通近代化に関する一考察	柳 偉 達	634
久留米大学法学 七七 (二〇一七・二)	中国の戸籍制度 ―資料と解説―	小竹 一 彰	641
慶應義塾大学日吉紀要 中国研究 一〇 (二〇一七・三)	現代中国における中央集権的政治体制と地方主義 批判の政治力学――広東省に関する地方主義批判 をめぐめる問題を事例として――	磯 部 靖	※
〃	「国防と軍隊の改革」における制度・編制の改編 ――二〇一五年の中国人民解放軍――	安 田 淳	※
慶應義塾大学法学研究会 教養論叢 一三七 (二〇一六・一)	現代中国の中央・地方関係をめぐめる論争	磯 部 靖	654
慶應義塾大学法学研究会 法学研究 八九一九 (二〇一六・九)	中国三峡ダム計画の登場 ―毛沢東の示唆と林一 山の役割――	林 秀 光	二八
〃 八九二二 (二〇一六・二)	中国建国初期の水力発電部門と三峡ダム計画	林 秀 光	四一
〃 九〇二二 (二〇一七・一)	一九五四年長江大洪水と三峡ダム計画	林 秀 光	五四
慶應義塾大学大学院 法学政治学論究 一一五 (二〇一七・二)	契約譲渡法制における第三者保護の法理 ――中国における法定契約譲渡からの考察――	金 安 妮	六九
敬和学園大学 人文社会科学研究所年報 一四 (二〇一六・六)	「農耕モンゴル地域」を構造的に考える ――内モンゴル東部における調査報告に基づいて――	木 下 光 弘	667
甲南女子大学研究紀要 人間科学編 五一 (二〇一五・三)	シンガポールおよびマレーシアにおける華人会館 の変容と新たな役割…そのネットワークの構築、 現地化およびグローバル化	合 田 美 穂	673
神戸大学 国民経済雑誌 二二二―二 (二〇一六・二)	中国の産業集積…確率的立地モデルにもとづく分 析	陳 光 輝	682
〃 (二〇一六・一〇)	中国の金融政策と人民元国際化	梶 谷 懐	689
神戸学院大学経済学芸学 神戸学院経済学 論集 四七三・四 (二〇一六・三)	台湾工作機械産業におけるエコシステムの検証 ――プラットフォーム・リーダーシップ戦略の現地 調査――	林 隆 一	697
神戸国際大学経済経営論集 三三六―二 (二〇一六・一二)	蘇州日系企業の体験記録(一)	陳 羽 瀨	713
神戸女子大学史学会 神女大史学 三三 (二〇一六・一一)	中国環境史研究の現状と展望	小 林 善 文	九〇
神戸女子大学文学部紀要 四九 (二〇一六・三)	中国東北地方の水資源と環境――遼河流域を中心に――	小 林 善 文	719
神戸女子大学文学部紀要 五〇 (二〇一七・三)	新疆ウイグル自治区南部の水環境	小 林 善 文	725
國學院大学 國學院雑誌 一一八―二 (二〇一七・二)	日台空路の断絶と復活に関する一考察 ―日中航 空協定問題をめぐって――	池 田 直 隆	二〇
国際農林業協働協会 国際農林業協力 三九三 (二〇一六・二)	中国森林資源の概況と灌木林資源の開発利用	黄 勝 澤	732
札幌学院大学 経済論集 一〇 (二〇一五・一〇)	中国内モンゴル自治区におけるプロジェクト制 村開発に関する研究 ―武川県五福号村を事例に――	蘇 々 木 斯 達 琴	736

札幌学院大学総合研究所紀要 二 (二〇一五三)	中国内モンゴルにおける農牧業生産の変容と地帯 構成	佐々木 達	744
事業創造大学院大学紀要 八一 (二〇一七四)	中国企業による対外直接投資の問題と対策	岸丁 伸 田 幸寧	749

※・・・特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

第四分冊 (歴史・政治・経済Ⅱ) 下

静岡大学法科大学院 静岡法務雑誌 八 (二〇一六・四)	中国の司法改革の最新動向——裁判所の改革におけるエリート化と民主化との調和	孫笑	1
静岡大学法科大学院 国際関係・比較文化研究 一四二 (二〇一六・三)	中国民法典の編纂における欧州民法体系化の影響	孫憲 朱曄著	4
静岡大学法文学部紀要法経学科篇 経済科学論集 四一 (二〇一五・三)	中国の「東海防空識別圏」の法的評価	飯野光浩	10
四天王寺大学紀要 六一 (二〇一六・九)	中国の上場会社におけるガバナンス改革の課題——日本の近時における改正法の示唆から——	坂巻静佳	23
島根県立大学 総合政策論叢 三一 (二〇一六・三)	中国における政府間財政関係の変質と多次元的展開	張忠任	54
島根県立大学 総合政策論叢 三一 (二〇一六・三)	中国農村と都市における家庭のエネルギー供給構造の実態——寧夏回族自治区のアンケート調査より——	張母小武 張母小武 張母小武	45
島根県立大学 総合政策論叢 三一 (二〇一六・三)	中国における政府間財政関係に関する分析——鎮寧県を事例に——	張忠任	69
島根県立大学 総合政策論叢 三一 (二〇一六・三)	台湾の「社区营造」と住民自治——中国の「社区自治」へのインスピレーション	唐燕霞	62
島根県立大学 総合政策論叢 三一 (二〇一六・三)	内モンゴルにおける郷鎮財政体制の変遷に関する分析	徐博	79
島根県立大学 総合政策論叢 三一 (二〇一六・三)	中国における政府間財政移転の実態と課題——財政方の調整効果を中心に——	孫任	87
島根県立大学 総合政策論叢 三一 (二〇一六・三)	中国浙江省における「省管県」財政体制の展開過程	張忠任	97
島根県立大学 総合政策論叢 三一 (二〇一六・三)	中国の秩序の理念——その特徴と近現代における問題化——	劉金紅 劉金紅 劉金紅	105
就実大学・就実短期大学 就実論叢 四五 (二〇一六・二)	中国における食糧生産構造の変化と稲作経営の特徴	馬谷口憲 馬谷口憲 馬谷口憲	115
首都大学東京人文科学研究科 人文学報 四九七 (二〇一五・二)	Division of Household among Dual-earner Couples in East Asian Countries: A Comparison of Chinese, Japanese, Korean, and Taiwanese Couples	Makiko FUWA	123
首都大学東京都市政策研究会 都市政策研究 八 (二〇一四・三)	台湾における社区营造研究の課題——コミュニティ形成・まちづくりの日台比較研究のために——	和田清美	133
首都大学東京法学会 法学会雑誌 五七一 (二〇一六・七)	台湾の社区营造政策と社区規劃師制度	和田清美	144
	中国「知識分子」と朝鮮戦争——海外派兵・原爆・同盟・租税をめぐって——	陳肇斌	—

城西大学 城西現代政策研究 一〇一 (二〇一七・三)	中国におけるサービスマ貿易の展開と台湾経済への影響 ―「台湾・中国間のサービスマ貿易協定」考察―	江秀華	150
城西国際大学紀要 二五二 (二〇一七・三)	中国国有企業改革(一九八〇～二〇一〇年)	孫根志華	158
昭和女子大学大学院生活機構研究科紀要 二五 (二〇一六・三)	ウィットフォーゲルの水力社会論 ―中国を事例として―	田畑久夫	167
鈴鹿国際大学紀要 CAMPANA 5 (一九九四)	宋代の官官接待 ―中国近世に於ける儒教政治の一つの挫折―	小倉正昭	177
” 7 (二〇〇一・三)	現代日本の官官接待 ―宋代史に学ぶ戦後日本官僚制支配変質への一試論―	小倉正昭	189
駿河台大学比較法研究所紀要 比較法文化 二二 (二〇一六・三)	中国の都市計画と住民生活	熊田俊郎	199
西南学院大学 国際文化論集 三二二 (二〇一七・二)	中国近二十年の人口结构変化	鄭景旭	207
専修大学社会科学研究所月報 六二四 (二〇一五・六)	習近平と文化大革命―現代に落とす文革の影響	韓景旭	207
大東文化大学紀要 五五 社会科学 (二〇一七・三)	二〇一六年南シナ海仲裁裁判 (UNCLOS Annex VII 仲裁裁判所、フィリピン対中国) ―九段線・岩(島)の法的地位	白杵英一	228
大東文化大学紀要 五五 人文科学 (二〇一七・三)	中国少数民族地域における「双語裁判」に関する調査報告	吉田慶子	236
大東文化大学法科大学院法務学会 大東 ロージャーナル 一三 (二〇一七・三)	中国の監督義務者責任の現状と特徴	崔光日	245
拓殖大学 異文化交流 言語・文化・歴史・ビジネス 五 (二〇一六・二)	改革の原点に立ち戻れ ―中国の経済改革に関する朱嘉明氏の提言	韓応飛	252
拓殖大学海外事情研究所 海外事情 六四一 (二〇一六・二)	膨張する中国、変わるアジア太平洋の政治経済構図 そして台湾	天児慧	二九
六四七八 (二〇一六・七)	台湾・蔡英文政権のカタチ ―就任演説から見えた対中国スタンス―	源一秀	三五
”	蔡英文時代の中台関係	高野華恵	四二
”	台湾の社会経済構造の変化と若者の苦悩 ―台湾における大卒労働市場の研究―	国府俊一郎	五〇
”	中国人民元の国際化とその影響	朱炎	五七
六五二三 (二〇一七・三)	深化する日台関係 ―実務外交の展開と章の根交流の拡大―	丹羽文生	六五
六五一九 (二〇一七・九)	習近平の反「右派」闘争 ―積み重なる歴史の負債―	藤野彰	七二
”	中国の国際反腐敗協力の新展開 ―「一带一路」廉潔之路―は実現できるか?―	岡田実	七八
多摩大学研究紀要 経営・情報研究 二〇 (二〇一六・二)	中国の「辺境経済圏」の諸相 ―「一带一路」戦略とAIBの動向を踏まえて―	巴特尔	256
筑紫女学院大学 人間文化研究所年報 二八 (二〇一七・八)	中国少数民族の現在を考える ―序論―	石其琳	260
千葉科学大学紀要 一〇 (二〇一七・二)	中国企業従業員の内通告発に対する態度	石其琳	260
千葉商科大学経済研究所 CUC View & Vision 41 (二〇一六・三)	中国年金改革の新動向 ―高齢化の対応―	沈心怡	273

千葉商科大学経済研究所 Vision 41 (101・6・3)	CUC View & Vision 41 (101・6・3)	「伝統」(はじ)まで遡れるものか——中国南方の「回族」社会におけるイスラームへの「回帰」——	王 柯	277
千葉商科大学経済研究所 研究 三 (101・6・3)	中小企業支援	中国の産業発展の担い手は誰か——日本の中小企業研究者から見た中国産業発展試論	渡辺 幸男	280
千葉商科大学国府台学生会 五三二 (101・6・3)	千葉商大紀要	中国における公的扶助の新たな取り組み ——上海での現地調査からみえてきたもの——	朱 珉	283
中央大学総合政策学部 二四 (101・6・3)	総合政策研究	「台湾二二八事件と中央大学卒業生」プロジェクトと受難者家族の証言概要	松野 良一	291
中央大学法学会 一三三・五六 (101・6・1)	法学新報	中国における外国仲裁判断の承認・執行拒否事由としての公序	梶田 幸雄	八六
中央大学大学院商経論叢 (101・6・9)	三二一	国際政治における米中関係の位相——現代米中関係の軌跡・現状・展望——	滝田 賢治	101
中央大学企業研究所 三七 (101・五・1)	中京企業研究	利害関係者の視点からみた中国私立大学の統治構造の改善	張利国 鷲尾 紀吉	303
朝鮮族研究学会誌 六 (101・六・1)	六 (101・六・1)	中国経済の見通し——二〇二〇年の中国——	白岩 千幸	307
〃	〃	中国民営自動車メーカーの製品開発実態の変化——吉利汽車の事例を中心に——	賈 宝音	313
〃	〃	日本における朝鮮族コミュニティの変遷と定住化——二〇一五年調査を中心に——	呉金成 呉金成	317
筑波大学大学院人文社会科学研究所 国際公共政策論集 三七 (101・六・1)	国	在日本中国朝鮮族運動会(101・五)及び生活実態に関するアンケート調査結果	権香 呉金成	333
筑波大学大学院 筑波ロー・ジャーナル 一三三 (101・七・1)	中国民法総則における行為能力規定	The Tort Law of the People's Republic of China	Charles COVELL Shahzadi COVELL	344
帝京大学経済学会 四九一 (101・五・1)	人民元国際化に関する一考察	中国民法総則における行為能力規定	直井 義典	359
〃	五〇二 (101・七・3)	人民元国際化に伴う「石油人民元」の台頭	郭 四志	376
東海大学紀要 (101・七・3)	教養学部 四七	中国雲南省の錫産業と地方都市——紅河哈尼族彝族自治州個旧市の事例——	郭 四志	396
東海大学紀要 (101・六・九)	政治経済学部 四八	台湾における女性議員の持続的増加の要因——二〇一六年台北市でのヒアリング調査から——	高木 俊之	405
東海大学国際文化学部紀要 (101・七・1)	九	北京地下鉄の創建と発展の歴史	辻 由希	412
東海大学短期大学紀要 (101・六・3)	四九	教師教育研究の国際化をめぐる現状と課題——日中間の研究交流を中心に——	松木 民雄	420
東海大学出版会 (101・七・1)	UP 四六一一	パンダと台湾黒熊	臧 俐	429
東京大学大学院教育学研究科紀要 (101・七・3)	五六	日韓中の家族論比較から見る「近代家族論」の可能性	柳 煌碩	433
東京医科歯科大学教養部研究紀要 (101・六・3)	四六	台湾政治体制移行期の李登輝副総統——『見証台湾』を読む	家永 真幸	444

東京外国語大学 クアドランテ 四分儀 一九 (二〇一七・三)	中国における公共サービスの民間委託 — 上海市 のケーススタディに基づいて —	村上 昂音	448
東京経済大学現代法学会誌 現代法学 三二 (二〇一七・二)	台湾における高齢者介護システムと外国人介護労働者の特殊性 — 在宅介護サービスを中心に —	西下 彰俊	457
東京聖栄大学 紀要 九 (二〇一七・三)	中国における農産物流通システム関連の法律と通達	藤島 廣二	470
東京農業大学産業経営学会 オホーツク 産業経営論集 二四二 (二〇一六・三)	現代中国の農業構造と農地の流動化 — 福建省漳州市における農地流動化四類型とその要因 —	范為 仁	476
〃	中国における農村集団財産権の改革と農村集団経済に関する一考察 — 山東省萊蕪市房幹村の事例を中心に —	范為 仁	493
二五二・二二 (二〇一七・三)	中国における農村留守児童の暮らしの現状と支援の課題 — 子どもの権利の視点から —	麗 麗	533
〃	中国の経済発展における経済特区の役割とその進化 — 「深圳経済特区」の事例を中心に —	管明 麗	542
一九一 (二〇一七・二〇)	中国の市場経済化と企業の成長	白春 驩	553
東北文化学園大学総合政策学部 総合政 策論集 一五一 (二〇一六・三)	日系コンビニエンス・ストアの国際戦略 — 株式会社ローソンの中国展開に関する事例研究 —	劉羽 達郎	557
〃	中国の大学入試教育における現状と問題	徐瑤 陽	571
東洋大学大学院紀要 五二 社会学研究 科・福祉社会学デザイン研究科 (二〇一六・三)	高大接続の視点から見た中国の大学入学者選抜	張目 達也	583
〃	NIMBYの視点から見る中国の草原地域における鉱山開発の問題 — 内モンゴル自治区の石宝鉄鉱を事例に —	侯瑤 瑤	571
長崎大学経済学会 経営と経済 九六・一二 (二〇一六・九)	中国における行政独占事件とその司法判断 — 広州市中級人民法院行政独占事件判決を素材として —	陳曉 菊	602
〃	中国の消費者契約における不当条項規制(一)	潘芳 芳	614
〃	中国における社会主義市場経済と経済行政法のパラダイム転換 — 法と政策の融合(一)	陳曉 菊	632
〃	中国における社会主義市場経済と経済行政法のパラダイム転換(二) — 法と政策の融合 —	陳曉 菊	653
〃	中国の消費者契約における不当条項規制(三・完)	潘芳 芳	673
〃	一九九〇年代以降の日本と中国における歴史教育の現状と課題 — 中学校の学習指導要領と歴史教科書の分析を中心に —	武小 燕	685
名古屋経営短期大学子ども学科子育て環 境支援研究センター 子ども研究論集 八 (二〇一六・三)			

名古屋産業大学論集 二七 (二〇一六・三)		日本における市民太陽光発電所開発とその中国への適用可能性に関する研究	張宇家 順燕 巢井 菊山 菅井 熊径 菅功 琦世	695
名古屋大学大学院人間文化研究科 人間文化研究 二七 (二〇一七・一)		中国の工誥学校―児童自立支援施設との比較	山田美香	698
〃	二八 (二〇一七・七)	一九五〇年代日華貿易交渉と琉球―パイナップルを中心に―	やまだあつし	704
〃		中国の少年刑事司法・未成年犯管教所	山田美香	712
名古屋柳城短期大学研究紀要 三八 (二〇一六・二)		中国四川省における障害児に対する療育・保育についでの一考察	荻原はるみ	719
奈良大学地理学会 奈良大地理 二二 (二〇一六・三)		改革開放期における河北省の集市	石原潤	724
奈良県立大学研究季報 二五・四 造学研究 XXVI (二〇一五・三)		科技创新・城市发展（イノベーション）と都市の発展	小松原尚	736

第四分冊 (歴史・政治・経済Ⅱ) 増刊

南山大学経営学会 南山経営研究 三〇一三 (二〇一六・三)	中国における日本アニメ産業の経営状況と課題 — 中国アニメ消費者調査からの経営提言 —	孔祥 燁	1
新潟大学法学会 法政理論 四八四 (二〇一六・四)	米中国交と武器輸出コミニケ	牛 水	16
〃 四九一 (二〇一六・九)	中国対越政策の冷却化と再活性化(一九六三—一九七三) — 米越交渉開始 カンボジア・クーデタ、米中接近 —	牛 水	34
〃 四九二 (二〇一七・二)	一九五〇年代における中国の軍事的政策決定	牛 水	*
二松学舎大学東アジア学術総合研究所集 刊 四六 (二〇一六・三)	権利意識の後 — 中国人の法意識(七) — (谷結論編)	何 鳴	45
日中法律家交流協会 日中法律家交流協 会報 五七 (二〇一七・三)	Ⅱ 中国実務法の現況 ○中国の民法典編纂と西 欧文化の漢字文化化	高 木	57
日本原価計算研究学会 原価計算研究 四一・二 (二〇一七)	間接費配賦計算の洗練度と品質管理の志向性が原 価情報による改善効果におよぼす影響 — 製造企 業における探索的分析 —	徐 智 銘	61
日本大学商学部 商学集志 八六一— (二〇一六・九)	中国のビジネスモデル転換に関する一考察…二重 移行論との関連	高 久 保 豊	67
日本大学法学部新聞学研究所紀要 ジャ ーナリズム&メディア 九 (二〇一六・三)	中国から見た「国家・「メディア」・「辺境」 — 新疆ウイグル自治区を例にして —	山 本 賢 二	76
〃 〃	中国におけるオンラインニュース管理規定 「口号」(スローガン)・中国・「抗日戦争勝利七〇 周年」	山 本 賢 二	*
日本女子大学紀要 人間社会学部 二七 (二〇一七・三)	中国における介護保険制度の創設を巡って — 政策の動向と政策的な要因の整理 —	沈 潔	84
日本比較文化学会 比較文化研究 二一九 (二〇一七・二)	台湾におけるMOOCsコース開設の試み — 台湾 初のMOOCs「非常村上春樹」を実践例として —	曾 秋 桂	89
日本文化人類学会 文化人類学 八一— (二〇一七・六)	内モンゴル遠隔地草原における牧畜戦略	尾 崎 孝 宏	93
ノースアジア大学総合研究センター 総 合研究 五 (二〇一七・三)	中国少数民族地域における都市化の現状と課題に 関する一考察 — 寧夏回族自治区銀川市を事例と して —	市 川 聖	103
広島大学法学会 広島法學 四〇二— (二〇一七・一)	Cultural Dimension in China's Ocean Policy	JIN Yongming	109
広島大学大学院社会科学研究所附属地域 経済システム研究センター紀要 地域経 済研究 二七 (二〇一六・三)	中国経済のサービス化と労働生産性成長 — 地域別データによる検証 —	李 博	116
〃 〃 一八 (二〇一七・三)	中国の製造業における産業集積変化と労働生産性 成長 — 業種別パネルデータによる検証 —	李 博	124
広島経済大学経済研究論集 三八四 (二〇一六・三)	国際価値連鎖の下における日中貿易の利益分配 — 製造業付加価値の比較分析を中心に —	広 田 堅 志	128

広島国際学院大学研究報告 四八 (二〇一五・二)	中国南部内陸農村における農家労働力の流出と農民層分解——重慶市農村を事例として——	莫紅	140
広島市立大学 広島平和研究所ブックレット 四 (二〇一七・三)	中国と東アジアの国際関係——核の安全保障の視点から	青山瑠妙	—
福岡大学法学論叢 六一四 (二〇一七・三)	中国自動車強制保険の賠償責任に関する一考察	李黎明	147
福岡工業大学環境科学研究所所報 一〇 (二〇一六・一〇)	中国鉄鋼業における産業政策と構造調整	藤井洋次	159
福岡女子大学国際文理学部紀要 国際社会研究 五 (二〇一六・二)	中国における株価変動と実体経済及び金融政策の関係について	張艶	164
福山大学大学院教育センター 大学教育論叢 三 (二〇一七・三)	中国の対外言語教育戦略と孔子学院	大塚豊	172
佛敎大学 社会学部論集 六三 (二〇一六・九)	中国における婚姻と家族の研究	張星 ／明著 ／訳	182
佛敎大学宗教文化ミュージアム研究紀要 二二 (二〇一六・三)	国際協力の世紀における日本と中国	小島康誉	193
文京学院大学外国語学部 紀要 一五 (二〇一六・二)	実践的国際協力学——新疆での三五年から台湾・香港の立憲主義と中国による浸透	岡本至	220
平成国際大学 社会・情報科学研究所論集 一六 (二〇一六・三)	台湾における総統・立法院同日選挙と中台・日台関係	浅野和生	241
北海道大学公共政策大学院 年報公共政策学 二二 (二〇一七・三)	中国における市民的公共性の探究——「市民社会論」の時代的な変遷——	西本紫乃	255
北海道大学大学院教育学研究院社会教育研究室 社会教育研究 三五 (二〇一七・六)	中国における社区教育職員養成の現状と課題——国家政策と上海市の実践を通して——	肖蘭	266
松山大学論集 二九二 (二〇一七・六)	中華人民共和民法総則	銭偉荣	272
武蔵大学論集 六五一 (二〇一七・九)	中国の「資金偏在」は変わったのか	童適平	294
明海大学大学院 応用言語学研究 一八 (二〇一六・三)	台湾におけるバナソニックと地場サプライヤーの協力関係——レッツノートとタフブックの価値作りの底力を探る	劉仁傑	305
明治大学商学研究所 明大商學論叢 九六三 (二〇一四・三)	中国における都市と農村——システム転換による労働移動と地域変動——	高田誠	311
明治大学政治経済研究所 政経論叢 八四十五六 (二〇一六・二)	中国の航空市場におけるLCC事業の展開に関する一考察——春秋航空のビジネスモデルを事例に——	町田一兵	318
明治大学法科大学院論集 一七 (二〇一六・三)	中国の民主化と「法の支配」	土屋光芳	325
明治大学大学院 商学研究論集 四七 (二〇一七・九)	契約責任をめぐる日中比較研究——環境汚染地取引を中心として——	柳進憲 北河田隆之 奥進一郎	352
名城大学アジア研究センター 名城アジア研究 七一 (二〇一六・三)	国交回復前の日中貿易——戦後日中貿易の歩み(一)——	高橋文紀	369
	The Technological Innovation and the Development of Parts Production in Electric Vehicle Industry of Taiwan	Yuri Sadori Lih-Ren Li Kuan-Ju Lin	379

明星大学経済学研究紀要 四八一— (二〇一六・六)	中国構造転換期の中の進出日系中小企業 —長江下流域(上海・蘇州・無錫)の事情—	関 満博	385
目白大学経営学研究 一五 (二〇一七・三)	中国の第三者決済サービスにおける競争優位の源泉に関する一考察 —顧客満足度調査を中心として—	盧 未龍 高土橋 武則	402
桃山学院大学経済経営論集 五七四 (二〇一六・三)	中国の果樹・林産物生産の発展と課題 —生産過剰と流通問題—	大島 一 二	410
〃	中国における新型農業職業教育の形成と貧困農村への影響 —河北省邢台市農業学校の事例分析—	劉 飛 竹 歳 一 紀	417
〃	中国における農村金融市場の展開と課題	大島 一 二	427
〃	中国における乳業界の構造再編 —「メラミン事件」の深刻な影響—	大島 一 二	437
〃	中国進出日系企業における経営現地化の現状と課題	齋藤 一幸 二則	443
桃山学院大学総合研究所紀要 四三二— (二〇一七・二)	中国における農業・農村政策の展開 —二〇〇〇年以降の農地政策を中心に—	大島 一 二	456
山形大学紀要 社会科学 四七二— (二〇一七・二)	現代中国農村における「留守児童」問題に関する研究動向と課題 —家族関係、子どもの教育とジエンダーを中心に—	劉 楠	463
山口県立大学学術情報 九 国際文化学 部紀要 二二二(二〇一六・三)	誰に向かつて何を語るか—中国で刊行された日本語刊行物、二〇一四—二〇一五—	井 竿 富雄	二
山梨県立大学国際政策学部紀要 山梨国 際研究 一〇(二〇一五・三)	中国における大都市問題と日本の経験 —北京と東京の事例を中心に—	張 兵	473
横浜国立大学論叢 社会科学系列 六八二(二〇一七・二)	示威の自由に関する日中比較と日本人の課題	御手洗 大輔	479
立教大学社会学部 応用社会学研究 五八(二〇一六・三)	「望子成龍」意識と物質主義 —上海市中心地区の調査を通じて—	吳 金海 寺 島 拓幸	491
立教大学 立教経済学研究 六九三 (二〇一六・一)	中国のシャドーバンクについて —郎咸平の議論に学ぶ—	福 光 寛	495
立正大学経済学芸 経済学季報 六五三・四(二〇一六・二)	中国自動車企業のグローバル行動に示唆された「外部資源の内部化」論理	苑 志 佳	510
〃	途上国から先進国へのアップヒル型直接投資の動機分析 —中国企業の対米直接投資を中心に—	苑 志 佳	526
立正大学文学部研究紀要 三三一 (二〇一六・三)	台湾油症事件に関する調査研究レビュー	堀 田 恭子	547
立命館大学経営学会 立命館経営学 五五一(二〇一六・五)	Conversion of Chinese Economy and Opportunity of Japanese Companies	Jin CHEN	554
立命館大学経済学会 立命館経済学 六四六(二〇一六・三)	日本企業の中国における事業活動と製造業の国際競争力	稲 葉 和夫	562
〃	改革の全面的深化路線下の中国経済 —習・李政権の四年—	井 手 啓二	570
〃	中国経済秩序、日本経済秩序、そして近代ヨーロッパ的経済秩序の個性の対比 —経済学の理論と倫理の統合の方向性を示した柏祐賢『経済秩序個性論—中国経済の研究』(一九四八年)から学ぶ—	小 野 進	577
立命館大学国際関係学会 立命館国際研 究 二九一(二〇一六・六)	原油価格の低落と中国のドル準備の減少の中での対米ファイナンス —国際マネーフローの変容についての覚書—	奥 田 宏 司	611

早稲田大学大学院政治学研究科 早稲田 政治公法研究 一〇二一(二〇一六・U)	党報と都市報の「两会」に関するアテンション分 析——中国の新聞を用いたテキストマイニングか ら——	于工 藤 海 春文	785
早稲田大学大学院法研論集 一六三 (二〇一七・九)	中国国家賠償法の構造とその法的検討	楊 遠 舟	794

*…:論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

中国関係論説資料 第59号

収録論文一覧

2019年 2月28日発行

東京都板橋区向原3-10-2

論説資料保存会

代表者 常盤浩行

中国関係論説資料 第59号 発行日

第1分冊 2018年11月30日

第2分冊 2018年12月31日

第3分冊 2019年1月31日

第4分冊 2019年2月28日